

付録目次

付録1	調査3	江戸川区住宅改造助成制度利用者へのアンケート調査の自由回答	175
付録2	調査7	S区訪問調査対象者一覧	176
付録3	調査9	江戸川区再改造実施者一覧	177
付録4	調査10	追跡調査事例一覧	182
付録5		建築士に対するヒアリングの概要	186
付録6		江戸川区助成制度協力業者に対するヒアリングの概要	187
付録7		事例シート（属性、改善プロセス、平面図など）	189
付録8		写真（改善後の問題点、工夫例）	210
付録9		調査票	214

調査1	高齢者の住まいに関するアンケート調査
調査2	障害を持つ高齢者に対する住宅改善に関するアンケート調査
調査3	東京都江戸川区住宅改造助成制度利用者へのアンケート調査
調査8	福祉機器業者へのアンケートおよび訪問ヒアリング調査
調査10	住宅改善実施者の追跡調査
調査12	全国の都道府県、東京都23区への住宅改善支援制度の実態調査
調査14	全国のリフォームヘルパー関連事業の実施状況調査（第一次）
調査15	全国のリフォームヘルパー関連事業の実態調査（第二次）
調査16	全国の建築士へのアンケート調査
調査17	東京都大田区施工業者へのアンケート調査
調査18	日本リフォームセンター増改築相談員へのアンケート調査

付録1 調査3 江戸川区住宅改造助成制度利用者へのアンケート調査の自由回答

() 内は人数

<区の職員、工務店などに関する感想、感謝>

- 相談に応じてくれる(7): 区職員がよく相談のってくれた。工務店が親身になって相談のってくれた
- 訪問してくれる(2): 区職員が後でも来てくれた。区職員がたびたび来てくれた
- 説明してくれる(1): きめ細かく説明してくれた
- 対応が親切(49): 区の職員が気持ちよくってくれた。区の職員が親切、誠実、良い人だった。区は積極的に動いてくれた。工務店が親切、誠実、良い人だった。気持ちよく工事をしてくれた
- 知識が豊富(4): 色々な事を知っていた。色々指導してくれた
- 配慮が細かい(3): 良く考えてくれた。工務店が色々工夫を入れてくれた
- 本人・家族の要求を踏まえた対応(4): こちらの希望を取り入れてくれた
- 臨時の対応、短い工事日数(6): 区はすぐに相談に乗ってくれた。区はすぐに手続きをとってくれた。早くできあがって良かった
- 工事の質が良い(2): 工務店が丁寧に仕事をしてくれた。仕上がりが見えた

<改造および制度に関する感想、生活や気持ちの変化>

- 改善が役立った(32): 改善して良かった、助かった
- 制度が役立った(20): 制度があって良かった。制度がなければ改善できなかった
- 生活が容易、安全になる(8): 生活がし易くなった。安全になった。安心できるようになった
- 環境が良くなる(4): 気持ちよく利用できるようになった。快適になった。清潔になった。狭くなった
- 本人のADL向上に役立つ(12): 本人が楽になった。自力でできるようになった。機能回復につながった。利用回数が増えた
- 家族等に役立つ(13): 他の家族の者にも役立った。介助の負担が軽くなったまたは否にならなくなった。いろいろな面で介護者の負担が軽くなった
- 経済的に役立つ(5): 経済的負担が軽くて済んだ
- 精神面での支えになった(7): 心強い、精神的な奨励を受けた。安心して年をとれる。長生きできる。自力でがんばる。介護する決意固めた。家族が明るく暮らせる
- 自宅介護を推進する(3): 自宅介護が可能になった
- 感謝している(66): 色々な面で感謝している。多額の助成を受け、感謝している。助かった。嬉しい。本人や介護者が喜んでいる。区長に感謝している。江戸川区に住んで良かった

<問題点>

- 住宅が老朽化している
 - 根本的に老朽化が進んでいるため何年持つかわからない
 - Hはきれいになったが、押入や台所の壁が落ちてしまい困った
- 住宅が構造上問題がある
 - 家が狭く、車いすが利用できるような改善が難しい
 - 家の構造から、手すりをつけた程度のためあまり変化はない
- 改善の時期が遅かった
 - もっと早く手すりをつけていたら、転倒を防ぎ、病気の進行を遅らせることができたのではないかと残念。
- 改善内容が希望通りでない。問題がある
 - 浴室全体を直してほしかった

- 工務店が手すりの位置を希望通りにつけてくれなかったのであまり役に立たない
- すぐに壊れたため水道屋に来てもらい直した
- どの程度の改善(金銭的に)までしてもらえるのかわからず遠慮がある
- 改善後使い勝手が悪い
 - 一部使い勝手が悪くなったが、高齢者本人が良ければ仕方がない
 - 手すりのためHと浴室が狭くなった。浴室の戸が閉まらなくなったが仕方がない
- 工務店・施工について
 - 工務店は自分で選んでやる方が便利
 - 仕事が丁寧な人もいるが、雑な人もいた
 - コッパ・ドレッシングなど材料が悪い
 - 良くやってくれたが適当にやっているようにも見受けられた
 - 早くお金の請求をしたので驚いた
 - 工事費が他に比べ高いように思う(素人判断だが)
 - 多忙のためか工事が予定通りの日程では行われなかった
 - 工事が自己負担でないため、苦情を持っていくことができない

7. 工事中、工事後の問題点

- 住んでいる建物の中での工事は音がうるさく、近所にも迷惑だったと思う
- 後の掃除がされたが仕方がない
- 高齢者本人の意欲がない
 - 一人で入浴できるようになったが面倒がるようになった

9. 高齢者の身体機能が変化する

- 利用者の体調の悪化が予想以上に早く、結果を十分に生かせず残念
- 改善したHを毎日利用していたが、骨折して寝たきり、おむつ使用になり残念。

<将来の希望、不安など>

- 今後の希望、要望
 - 今後も相談したい。利用したい。制度を続けてほしい
 - 対応年数のある箇所について追跡調査をし、再改善してくれるとよい
 - 家の建て替えはこの先何年生きるかわからないのでやりたくない。このままそっと暮らしたい
 - たまには介護者にも休職してほしい
 - 身体の不自由な人が安心して通院できる(車いすでも楽に出入りが出来る)病院設立を願う
- さらに改善を希望する
 - 再物がその場所に流されると良い。高齢化に伴い足腰が悪くなるため、隣の便器に移動するのが大変
 - 玄関でない出入口を用いているが危険なため手すりがほしい
 - 現在使用中の部屋は寒いため不便2階へ上がり降りできる機器をつけてほしい
 - 洗面所にお湯が出るようにしてほしい。やむを得ず、寒いときには台所の湯沸かし器を使用している
- 将来への不安
 - 現在寝たきりで、朝夕の食事時には起きるが、自力では立てない。車いすもだんだん乗れなくなるとかと思うと不安
 - 介護者が通院中のため、心細い
 - 病気が悪化し車いすになる。家の中をはって生活しているが、1人暮らしのため心配

付録2 調査7 S区訪問調査対象者一覧

NO	最大規模	規模	金額	改造場所										ADL (D/E/F1/F2/G)
				77"n-t	玄関	便所	浴室	廊下	階段	寝室	居間	居室	洗面	
1	東2	3	3	212,849			3							1/1/1/1/1
2	東3	2	2	71,500 95,275	2	2	(2) 2	(2)						3/2/4/2/2
3	東4	2	② 2	44,340			2	2	② 2	2				1/2→1/-→2/1/2→1
4	東身1	6	⑥ 5	(除階段) 335,707	4		⑥ 5	⑥ 5	② 5	④ 5	⑥		②	2/2/4/4/3
5	西2	2	2 2	83,000			2	(2) 3	(2)				2	2→1/2→1/4→1/4→1/2→1
6	西3	3	3	135,353			2	3	2					1/2/2/2/1
7	西4	3	3	110,950			2	3	2					2→2/2/4/2/1→2
8	西5	3	3	43,317			4	②		0				2→1/1→2/4/4→4/2
9	南1	3	3 ②	648,900			3		②					1/2→1/3→4/3→1/3→2
10	南2	4	④ ③ 4 2	234,840	4	②	④ ③ 2	②	②	①	③		④	4→3/2/4/2/2
11	南3	7	⑦ 2	171,392			④ 2	2	② 2	② 2	④ 2			1/2/-/2/2 と77"n-t 不十分
12	南5	2	2 2	24,823 99,807	2			2		2	2			4/4/4/2/2
13	南6	4	4	238,059	4					2				4/4/4/4/3
14	南8	5	2 5	1226,305		(2) 4	(2) 2	(2) 2		4	(2)		4	2→2/4/4/4/3 移動用77"n-t(居室→食→便)

ADL D: 排泄 1. 主室自力 2. 主室介助 3. 47"n-t自力 4. 47"n-t介助 5. おむつ、ペッド上

E: 入浴 1. 主室自力 2. 主室介助 3. 介助シャワー 4. 入浴ペッド、滑拭

F1: 屋外歩行 1. 自立 2. 杖歩行、伝い歩き、いざり 3. 介助歩行(見守りを含む) 4. 車いす、寝たきり

F2: 屋内歩行 1. 自立 2. 杖歩行、伝い歩き、いざり 3. 介助歩行(見守りを含む) 4. 車いす、寝たきり

G: 自立度 1. 生活自立 2. 準寝たきり(家の中なら一人で動ける) 3. 寝たきり

・改造前後でADLに変化のあったものについては→で示す

・複数箇所に該当する場合、場所のからむD、Eは良い方をとるが、F、Gは悪い方をとる

規模0 部屋替え他

規模1 可動福祉機器のみ

規模2 手すり、すりつけ板による段差の解消等

規模3 建具、設備、部品の交換

規模4 床・壁・下地材の変更等

規模5 大型福祉機器の利用

規模6 増築、なかった所に新たに設置等

規模7 新築

丸数字 自己による改造(新築も含む)

半数字 建設当初から

()数字 区による以前の改造、今回の効果等には含まない

付録3 調査9 江戸川区再改造実施者一覧

事例 No	性別	年齢	申請年月日			申請期間(ヶ月)		合計経費 (円)	再改善の原因					#1
			1回目	2回目	3回目	1→2	2→3		1	2	3	4	5	
1	女	82	3.3.31	3.9.26		6		2,101,200	○					
2	男	75	2.10.31	3.9.18		11		3,183,482		○				
3	女	86	3.7.29	3.9.30		2		913,610	○					
4	女	73	3.5.6	3.12.8		8		890,440		○	○		○	
5	男	70	2.11.22	3.6.14		7		1,551,160		○				
6	女	78	3.10.9	3.11.30		2		1,965,549					○	
7	女	86	2.11.9	4.1.23		15		330,176		○	○			
8	男	86	2.12.15	3.7.2		7.5		523,888			○			
9	男	67	3.4.14	3.8.1		3.5		1,661,399					○	
10	男	70	4.1.30	4.3.11		1.5		1,793,230					○	
11	男	63	3.5.8	3.7.29		3		905,038					○	
12	男	77	3.2.18	3.5.18		3		162,200	○			○		
13	男	84	3.2.25	3.11.2		8		1,791,611		○				
14	男	92	2.11.16	3.4.22		5		800,420					○	
15	男	61	2.12.17	3.9.3		8.5		764,755					○	
16	女	74	3.10.15	3.12.16		2		2,077,407		○	○			
17	男	62	3.11.20	3.12.4		0.5		1,113,022					○	
18	男	60	3.10.18	4.3.26		5		329,894				○		
19	男女	60 85	3.12.26	4.1.10		0.5		2,589,573		○				
20	女	64	3.11.13	3.12.6		0.7		1,941,550				○		
21	女	71	3.12.9	4.1.22		1.5		2,544,326					○	
22	男	69	3.6.1	3.11.16	4.1.29	5.5	2.5	1,678,070		○	○			
23	男	69	3.4.3	4.1.27	4.1.28	10	1日	3,169,409			○		○	
24	男	73	3.2.1	3.7.3	3.12.10	6	5.5	2,169,854			○		○	
25	男	82	3.8.28	3.9.30	3.11.21	1	2	2,610,499	○					
26	男	73	2.10.29	4.2.19		16.5		1,943,360					○	
27	男	67	2.11.22	3.9.3		9.5		1,230,850					○	
28	男	63	2.12.17	3.4.3		3.5		1,728,100				○		

*再改善の原因 1. ADL向上 2. ADL低下 3. 改善修正 4. 改善追加 5. 意欲向上

再改善 の要因 別分類	事例No 性別 年齢	ADL能力				主な改善内容		改善費 (円)
		歩行	排泄	入浴	手動	1回目	2回目	
ADL 向上型	No.1 女 82歳	2 ↓ 3	2 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・玄関-簡易スロープ	・便所-手すり ・浴室-浴槽交換 手すり、かさ上げ ・洗面所-かさ上げ	1回目 144,200 2回目 1,957,000
	No.3 女 86歳	3 ↓ (3)	2 (3) ↓ (3)	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・便所-かさ上げ 扉交換、手すり ・浴室-浴槽交換 手すり、スロープ ・廊下-かさ上げ	・廊下-手すり	1回目 815,760 2回目 97,850
	No.25 男 82歳	2 ↓ 2 ↓ 2	2 ↓ 3 ↓ 3	2 ↓ 2 ↓ 2	2 ↓ 1 ↓ 2	・階段-階段昇降機	・便所-手すり ・浴室-スノコ ・廊下、階段-手すり ・台所、洗面所-建具交換 ・居室-手すり、スロープ	1回目 860,500 2回目 262,650
						3回目・便所-蛇口交換 ・洗面所-吊り戸 棚	・浴室-浴槽、扉交換 床かさ上げ 手すり、給湯器	3回目 1,487,340
ADL 低下型	No.2 男 1回-75歳 2回-76歳	3 ↓ 2	3 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 3	・浴室-浴槽交換 かさ上げ 手すり	・77"ローへの字鉄板 ・玄関-段差スリット 引き戸 ・浴室-移乗台 ・居室-70"スリット	1回目 537,000 2回目 2,646,482
	No.5 男 70歳	4 ↓ 2	3 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・便所-トイレ、便器 ・浴室-スリット、入り口スリット ・廊下、洗面所、 台所-かさ上げ ・階段-手すり ・居室-畳取替	・玄関-踏み台 スロープ設置 ・浴室-換気扇 ・居室-補強梁取付	1回目 1,332,800 2回目 218,360
	No.13 男 84歳	4 ↓ 2 (4)	2 ↓ 3	- ↓ 2	3 ↓ 2	・便所-手すり、便器 ・廊下、居室 -スリット、スリット	・浴室-トイレ、手すり 扉、浴槽、 給湯器交換	1回目 365,400 2回目 1,425,211
	No.19 男 60歳 女(叔母) 85歳	3 ↓ 1 (2)	4 ↓ 1 (2)	2 ↓ 1 (2)	1 ↓ 2	・便所-洋便器、手すり 床仕上げ ・浴室-シャワー、 ・台所-水栓金具	・玄関、77"ロー -携帯用スロープ ・浴室-スリット、手すり 浴槽、扉、 給湯器交換 移乗台	1回目 740,518 2回目 1,849,055
	No.22 男 70歳	3 ↓ 3 ↓ 3	3 ↓ 1 ↓ 3	2 ↓ 2 ↓ 2	1 ↓ 2 ↓ 2	・便所-トイレ、手すり 手すり ・浴室-敷居取替 床板補修 ・廊下、階段-手すり ・居室-和室スロープ	・階段-階段昇降機	1回目 602,750 2回目 844,600 3回目 230,720
						3回目 ・便所-手すり ・階段-手すり	・廊下-トイレ、手すり ・居室-建具取替	

再改善 の要因 別分類	事例No 性別 年齢	A D L 能力				主な改善内容		改善費 (円)
		歩行	排泄	入浴	手動	1 回目	2 回目	
改善 修正型	No. 4 女 1 回 - 73 歳 2 回 - 74 歳	2 (4) 1 2 (3)	4 1 4 3	3 1 3 2	3 1 2	・ 便所 - 浴室との仕 切り設置 ・ 浴室 - 手すり、スノコ	・ 浴室 - 親手すり スノコ取替	1 回目 581,440 2 回目 308,000
	No. 7 女 1 回 - 86 歳 2 回 - 87 歳	4 1 1	3 1 2	2 1 2	3 1 2	・ 便所 - 手すり ・ 浴室 - スノコ、手すり 扉交換	・ 浴室 - アルミ扉 (中折れ)	1 回目 196,276 2 回目 133,900
	No. 8 男 1 回 - 86 歳 2 回 - 87 歳	3 1 3	4 1 4	2 1 2	3 1 3	・ 玄関 - 手すり、踏台 ・ 便所 - 手すり ・ 浴室 - 手すり、スノコ 腰掛け	・ 77"ローター設置 ・ 浴室 - スノコ調整	1 回目 491,633 2 回目 32,255
	No. 16 女 74 歳	2 (4) 1 2 (2)	1 (2) 1 1 (2)	2 1 2	2 1 2 (3)	・ 玄関 - 開口拡大 スノコ、77" ・ 浴室 - 手すり シャワー ・ 洗面所 - 手すり 洗面器撤去	・ 浴室 - 浴槽交換 手すり移設 ・ 洗面所 - 洗面器 移設	1 回目 1,468,780 2 回目 608,627
	No. 23 男 69 歳	2 1 2 1 2	2 1 3 1 3	- 1 2 1 2	- 1 2 1 2	・ 77"ローター設置	・ 77"ローター木製スノコ シャワー ・ 便所 - ハンドパス新設 し型手すり ・ 浴室 - スノコ ・ 洗面所 - 床、天井、 壁取替 77"ローター	1 回目 169,740 2 回目 2,832,500 3 回目 167,169
	No. 24 男 73 歳	3 1 1 1	3 1 1 1	2 1 1 1	2 1 1 1	・ 便所 - シェット設置	・ 浴室 - 手すり、扉、 浴槽交換 シャワー設置	1 回目 169,740 2 回目 1,696,847 3 回目 303,267

歩行：1. 寝たきり 2. 車椅子 3. 介助歩行 4. 杖・歩行器

排泄：1. おむつ 2. ポータブル 3. 介助 4. 自力

入浴：1. できない 2. 介助入浴 3. 自力入浴

手動：1. 握れない 2. 軽く動かせる 3. 支障ない

改善型 タイプ 分類	事例No 性別 年齢	ADL能力				主な改善内容		改善費 (円)
		歩行	排泄	入浴	手動	1回目	2回目	
改善 追加型	No. 8 女 78歳	4 ↓ 4	2 (3) ↓ 2 (3)	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・玄関、廊下、階段 一手すり ・便所一手すり、床付 便器交換 ・浴室-かさ上げ 手すり、浴槽 ・居室- P-14、1/3 手すり	・便所一手すり ・浴室一手すり	1回目 1,900,144 2回目 65,405
	No. 9 男 1回-57歳 2回-68歳	4 ↓ 4	3 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・便所一手すり ・浴室-全面改装 手すり、浴槽等 ・廊下一手すり	・廊下一手すり ・居室-敷居、建具 交換	1回目 1,452,000 2回目 209,399
	No. 10 男 70歳	4 ↓ 4	1 (3) ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・便所-かさ上げ 手すり、便器 ・浴室- 手すり、手すり 湯沸器、扉 浴槽交換 ・洗面所-洗面器 床仕上げ(4)	・浴室-入浴用 7'-27"	1回目 1,485,290 2回目 305,940
	No. 11 男 1回-63歳 2回-64歳	3 ↓ 3	3 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・玄関-27"7'-7'-27" ・便所一手すり、便器 三角10-7' ・浴室-1/3、手すり 扉(中折れ) ・台所-三角10-7' ・洗面所-床貼り ・居室-三角10-7' 手すり	・玄関一手すり ・浴室一手すり ・居室一手すり	1回目 818,380 2回目 86,658
	No. 14 男 92歳	1 ↓ 1	1 ↓ 1	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・浴室一手すり、1/3 浴槽交換	・浴室-27"-27"紐張 扉交換	1回目 430,190 2回目 370,230
	No. 15 男 61歳 (4)	3 ↓ 3 (4)	3 ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・玄関一手すり、10-7' ・便所一手すり ・浴室-手すり、1/3、踏台 ・台所-踏台、手すり ・居室、洗面所-10-7'	・便所一手すり、便器 ・浴室-バスボード ・居室-スロープ	1回目 488,200 2回目 276,555
	No. 17 男 62歳	3 ↓ 3	4 ↓ 4	3 ↓ 3	2 ↓ 2	・浴室-段差解消 扉、給湯器、 浴槽交換 手すり ・居室-洋式化	・便所一手すり ・浴室一手すり ・階段一手すり	1回目 927,000 2回目 186,022
	No. 21 女 71歳	2 ↓ 2	2 (3) ↓ 3	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・便所-壁天井撤去 壁紙便座 7'-7'-7'(4)7' ・浴室-自動風呂釜 7'-7'-7' ・廊下-7'-7'-7' ・階段-階段昇降機 ・洗面所-天井取替 7'-7'-7'(4)7'	・浴室-7'-7'-7'-7'-7' 手すり 壁防水 7'-7'-7'-7'-7'	1回目 2,426,000 2回目 118,326

改善型 タイプ 分類	事例No 性別 年齢	ADL能力				主な改善内容		改善費 (円)
		歩行	排泄	入浴	手動	1 回目	2 回目	
改造 追加型	No. 26 男 1回-73歳 2回-75歳	1 ↓ 1	1 ↓ 1 (2) (3)	1 ↓ 2	2 ↓ 2	・ 便所-スリ-拡張 ・ 居室-直接出入り できるように増築	・ 便所-手すり ・ 浴室-手すり	1 回目 1,879,500 2 回目 63,860
	No. 27 男 1回-67歳 2回-68歳	4 ↓ 4	4 ↓ 4	2 ↓ 2	2 ↓ 2	・ 浴室-床上げ 手すり 浴槽交換	・ 便所-手すり ・ 浴室-手すり	1 回目 1,166,990 2 回目 63,860
意欲 向上型	No. 12 男 1回-77歳 2回-78歳	2 (4) ↓ 4	2 ↓ 3	2 ↓ 2	- ↓ 3	・ 浴室-手すり、スリ 腰掛け台	・ 玄関-段差解消 (スリ+工事) ・ 居室-手すり	1 回目 102,200 2 回目 60,000
	No. 18 男 60歳	3 ↓ ↓ 3	4 ↓ ↓ 4	2 ↓ ↓ 2	3 ↓ ↓ 3	・ 浴室-スノコ 73-74-75-76	・ 階段-手すり設置	1 回目 80,300 2 回目 249,594
	No. 20 女 64歳	2 ↓ ↓ 2	3 ↓ ↓ 3	2 ↓ ↓ 2	2 ↓ ↓ 2	・ 浴室-手すり	・ 便所-壁紙張替 扉新設 ・ 浴室-スリ、片引戸 シャワー ・ 廊下-壁一部撤去 スリ、片引戸 ・ 洗面所-床撤去し、 Pタイル貼替 洗面器移動 7074161451	1 回目 149,350 2 回目 1,792,200
	No. 28 男 1回-63歳 2回-64歳	- ↓ 3	- ↓ 3	- ↓ 2	- ↓ 2	・ 便所-床改装 洋便器 手すり ・ 浴室-手すり	・ 階段-階段昇降機	1 回目 588,100 2 回目 1,140,000

歩行：1. 寝たきり 2. 車椅子 3. 介助歩行 4. 杖・歩行器
排泄：1. おむつ 2. ポータブル 3. 介助 4. 自力
入浴：1. できない 2. 介助人浴 3. 自力入浴
手動：1. 握れない 2. 軽く動かせる 3. 支障ない

付録4 調査10 追跡調査事例一覧

No	性別・住宅 形態・身体機能	ADL能力			主な改善		改善内容	
		歩行	排泄	入浴	1 回目	問題点	今回調査	問題点
3	女性 高齢 半身持家 股関節屈曲不能	2 2	1 1	1 1	・ 階段-手すり ・ 階段-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-バスタブ、可動手すり	・ 玄関は使用せず、 ・ 浴室-手すり追加 希望	なし	・ 便所-バスタブ(夜) に体に合わない失敗が ある
5	男性 夫婦持家 認知症	5 5	4 4.5	2 2	・ 階段-手すり、昇降機 ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-バスタブ、可動 手すり ・ 浴室-バスタブ、可動 手すり ・ 浴室-バスタブ、可動 手すり ・ 浴室-バスタブ、可動 手すり ・ 浴室-バスタブ、可動 手すり	・ (1)の動きが遅い、位 置を少し絞る方に寄せ た方がよかった		
7	男性 同居持家 脊髄小脳変性症	1 2	2 2	2 2	・ 玄関-手すり ・ 廊下-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 廊下など-手すりが おぼろげで滑りやすい ・ 便所-洋式便器の配 置が手すりの高さより 低く転倒しやすい ・ 浴室-手すりの出入 口にも手すりがほしい	・ 玄関-手すり追加 ・ 廊下-手すり追加 ・ 浴室-手すり追加 ・ 洗面所-手すり追加	・ 浴室、洗面所-手すりをもつ つけたいが構造上、家具などの ため無理 ・ 便所-手すり、側がドアを開けた際 に倒れそうなので怖い
9	男性 同居持家 脳卒中	5 5	2 2	2 2	・ 77/60-スリッパ用スロープ ・ 玄関-可動スロープ ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 浴室-浴槽の横に坐 り、体を支える手すり がほしい ・ 浴室-手すりが 低い、バスタブに足置き がほしい	なし	・ 浴槽などの取りにこ のぼる、手すり、手すり 本人を外に連れ出せる か頭が痛い
11	女性 夫婦持家 脳梗塞	2 5	1 4	1 2	・ 77/60-スリッパ用スロープ、手 すり ・ 廊下-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	なし	なし	・ 便所の引き出し足が引っか かる(引き戸)
14	男性 同居持家 認知症 左片マヒ	2 2	1 1	2 2	・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり			
15	女性 夫婦持家 77/60、関節障害	2 2	1 1	1 2	・ 玄関-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 玄関-手すり、かま ちが狭く、手すりが ほしい ・ 便所-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室改築(取、12) ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり
16	男性 同居持家 認知症 軽い左片マヒ	1 1	1 1	1 1	・ 階段-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 玄関-手すり、手 すり、手すり ・ 便所-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり		
17	女性 同居持家 認知症 右片マヒ 身体手帳1級	5 5	4.5 4.5	2 3.4	・ 玄関-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 玄関-手すり、手 すり、手すり ・ 便所-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	なし	・ 玄関-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり
18	女性 同居持家 認知症 左片マヒ	1 1	1 1	1 1	・ 77/60-スリッパ用スロープ ・ 玄関-可動スロープ ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり
19	男性 同居持家 認知症 多発性 全身のしびれ 身体手帳2級	5 5	4 4	2 4	・ 玄関-手すり ・ 便所-洋式便器、手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり ・ 浴室-手すり	・ 便所-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり	・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり ・ 浴室-手すり、手 すり、手すり

No	性別・住宅 形態・身体機能	ADL能力			主な改善		改善内容	
		歩行	排泄	入浴	1 回目	問題点	今回調査	問題点
20	男性 夫婦持家 左片マヒ	2 1 5	1 5 4	2 1 4	・便所→廊下かさ上げ、手すり ・浴室→手すり ・洗面所→洗面台交換 ・寝室→アース	・段差などが不便 ・洗面の扉と洋室の 間の扉の取替、便所で 転び骨折	・玄関→踏み台の設置 ・浴室→バタ・バタに 取り替え	
21	男性 夫婦持家 脳内出血 左片マヒ 身体手続2級	2 4 4	1 1 1	2 2 2	・廊下→アース→木戸幅拡大 ・アース ・便所、洗面所→一体化 ・浴室→シャワー式、移築板 ・洗面→洗面台替え、手すり ・寝室→アース	・便所→水を流す際に 体が不安定になる ・浴室→シャワー式、 シャワーが高い、浴槽の 底にすべり止めが欲しい ・洗面の扉の取替が引 きにくい ・浴室→手すりはある が使用せず	・玄関→一段差が少ない 方がよい ・廊下→幅を広くした い ・浴室→浴槽はできる だけ浅くしたい ・洗面→洗面台は、高度 で取り付けられるよう、広く したい ・段差解消したい	
22	女性 高齢持家 脳内出血 右片マヒ 身体手続1級	5 5 5	4 4 4	2 1 2	・アース→廊下用アース ・廊下→アース化 ・浴室→シャワー式 ・浴室→浴槽交換、床板交換 ・洗面→洗面台交換 ・寝室→アース→シャワー式 ・洗面→手すり	・階段→アース→傾斜が 急 ・便所→狭く、補助が人 れないので使用せず ・浴室→段差がある。 手すりがない ・浴室→アース、奥の手 すりは使用せず、バタ・ バタが使用しづらい		
23	女性 高齢持家 くも膜下出血	1 1 1	1 1 1	1 1 1	・アース→アースで舗装 ・廊下→手すり(1) ・便所→洋式化、暖房便器 ・手すり、アース、かさ上げ ・浴室→全面改築、給湯器 ・浴槽交換、手すり(3) ・洗面→洗面台替え、アース ・居室→アース ・居室→アース	・玄関→上がり、かま の段差が大きく、要介 助 ・便所→手すりの位置 が手前すぎる ・浴室→手すりの位置 が浴槽への出入りには 利用できない		
24	男性 夫婦持家 脳内出血 右片マヒ 身体手続3級	1 2 2	1 1 1	2 1 2	・玄関→手すり、滑り止め ・廊下→手すり ・浴室→かさ上げ、浴槽交 換、暖房便器、手すり ・洗面→洗面台替え、アース ・手すり	・玄関→左の壁が収納 の穴、手すりがつかない ・廊下→廊下のたわみ が原因、滑りやすい ・便所→お風呂の手す りがない、入り口の 段差を減 ・浴室→狭く、浴用類 ・浴室→アースが欲しい	・手すりは左右にある とよい、つけれない所 は全部つけた方がよい ・段差はない方がよい	
25	女性 高齢持家 くも膜下出血	5 1 5	2 1 4	2 1 4	・アース→外廊をアース化 ・廊下→アース ・浴室→浴槽交換、給湯器 交換、手すり(2) ・洗面→洗面台替え、床板 交換、アース ・居室→アース→シャワー式	・浴室→アースのすの 高さが低い、可動だと使 利 ・新築 ・玄関→車いす用に広 く、踏み台 ・廊下→車いす用に幅 広 ・浴室→段差解消、手 すり、引き手、給湯器 簡易手すり ・洗面所→段差解消、 手すり ・便所→段差解消、手 すり ・居室→段差解消、引 き手	・玄関とアース間に段差があり、 昇降が不便 ・便所、洗面所→手すりが高い。 ・浴室→低い壁がやや低い(角 と角はほしい)。水がやや外にあ ふれる ・区役所などに住宅の見本があ るとよい、説明してもわかって もらえない	
26	女性 夫婦持家 脳内出血 左片マヒ 身体手続2級	2 4 5	2 1 5	2 1 4	・勝手口→段差解消機 ・廊下→床板取り替え ・便所→アース→シャワー式 ・洗面→洗面台交換、シャワー式 ・浴室→浴槽交換、床板交換 ・洗面→洗面台交換、シャワー式 ・浴室→アース	・段差解消機→停電時 には使用不可 ・浴室→アースのた わみが大きい ・洗面→洗面台交換、シャワー式 ・浴室→アース	・高船になってからの 改造は大変	
27	男性 高齢持家 左片マヒ 身体手続2級	2 1 2	1 1 3	2 1 2	・玄関→手すり(1) ・廊下→手すり(1)後にはず す ・便所→洋式化、暖房便器 ・手すり、アース ・浴室→全面改築、段差解 消、手すり、浴槽交換、移 築、アース ・洗面→洗面台交換、シャワー式 ・浴室→アース	・玄関→段差が大きく 滑り不安定で怖い ・廊下→直角に曲が るが怖い ・浴室→段差が大きい		

No	性別・住宅 形態 疾病・身体機能	ADL能力			主な改善		改善内容	
		歩行	排泄	入浴	1回目	問題点	今回調査	問題点
28	女性 夫婦持家 71歳 脊髄血管障害 下半身マヒ	4 4.5	1.5 1.5	3.4 3.4	・玄関-増築、段差解消 ・洗面-増築、身障者用便器、手すり ・浴室-増築、シャワーの取 置、手すり ・洗面所-重いす用洗面台 ・寝室-洋室化、72インチ ・台所-増築、重いす用流 し、20台が低めの付け置き	・玄関-廊が狭く72 インチが ・洗面-便器の形状が 使いづらい、手すりが 多いため修正 ・洗面所-蛇口が短く 短い ・浴室-手すりがかた いであまりで、重い す用シャワーにすぎ があり結果として、 ・台所-20台がやや 高く、流しが見えな い、蛇口が長く水がは ねる		・浴室-浴槽に入るの が困難、蛇口や高床で 使い方が難しい
29	男性 夫婦持家 71歳 脳内出血 右半身マヒ	2 1.5	1 1	2.4 1.4 3.4	・玄関-増築、段差解消 ・洗面-増築、段差解消、72 インチ、手すり ・洗面所-重いす用洗面台 ・浴室-エプロン移動、72 インチ ・寝室-洋室増築、段差解 消 ・居間-半分洋室化、72 インチ、段差解消	・浴室-昔から使用の ものを移動したため、 手すりはなく段差があ り狭く、シャワーのみで利用		
30	男性 夫婦持家 63歳 右片マヒ 身体手帳2級	2 2	1.5 1	2 2	・廊下-手すり(1) ・洗面-引き戸、手すり(2) ・浴室-浴槽、蛇口調整 手すり、移動台 ・寝室-増築、洋室化、67 インチ ・居間-浴室の増築に伴い 増築(1)	・浴室-引き戸にして 手すりを添付させたか つが場所がない、内 開き戸	・浴室を隣接して増築 浴槽交換、蛇口調整と手 すりは移動	・72インチの部分はすべるた めできるだけ発生を少なく
31	女性 隣居持家 75歳 脳梗塞 左半身マヒ 身体手帳2級	2 2	1 1	2 2	・新築 ・玄関-踏み台、手すり ・洗面-浴室に隣接、手す り ・浴室-手すり付きの浴槽 ・移築台、手すり、いす	・玄関-玄関ポーチから 階段へは階段があり 手すりも無い ・洗面-段差あり、手 すりがあるが、手 すりがない部分で、 ・浴室-段差がある	・今後2階の子世帯と 関係し、昇降機を設置 予定	
32	男性 夫婦持家 75歳 長年糖尿病併発症 四肢マヒ 身体手帳2級	2 2.5	1 3.5	2 2	・新築 ・洗面-重いすの入れる面 積、手すり ・浴室-段差を小さく、手 すり ・寝室-段差をなくす ・居間-段差をなくす	・72インチ段差がある ・浴室-手すりがない ・浴槽の出入りが困難 のため、17インチがある とよい、戸が内開き		・扉は開き 戸より引き 戸がよかった
33	男性 同居持家 71歳 脳梗塞 四肢マヒ 身体手帳1級	5 3.5	2.5 3.5	2 2	・新築 ・72インチ-寝室より20 インチ ・洗面-ど-72 ・浴室-72 ・寝室-浴室との17 口を工夫 ・居間-段差なし	・浴室-浴槽の 高さが 低く、出入り ・浴室-換気扇がほしい		

江苏川区经年变化

[illegible]

付録5 建築士に対するヒアリングの概要

	プロセス	工夫・注意した点など	問題点・課題	経費の考え方
A氏	<p><流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅訪問（所内の建築家、事務系3名）→実測、相談→施工後のフォローは何度でも行く。 <ネットワーク> ・役所、福祉事務所、リハ病院、口コミにより本人等から依頼有り。 ・PT・OTの意見は参考程度にする。 ・工務店は5社と契約地域により振り分け。 <マニュアル> ・利用しない。介護のノウハウの経験があり、動作を見る訓練は出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の整理整頓から考える。段差は徹底的に解消。 ・将来必要になる等の説明は無理にせず、予算内で可能なことは黙って実施。家族が熱心な場合はさらに説明。 ・必ず高齢者本人に意見を聞き自分で考えてもらうようにすることがトラブルを防ぐ。 ・使い方の説明が最重要。設計だけでなく使える形にしてあげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役所の補助金は各区の7割により解釈が異なる。 ・全額助成では本人及び家族が自分で考えようせず助成金を使いこなす気持ちがない。役所も価格に口出しをするが、将来を見越して評価して考えるべき。 ・当初は大工が施工の仕方がわからなかった。 ・図面通りにしてもらえない。 ・身障者のために使える品物（椅子、鍵等）を特約から選び出した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、訪問は無料。見積、図面を描く場合は有料。当初に今までのところから約何万といった経費をする。 ・役所の補助を引っ張り出すことが大切。補助があれば家族も同意する。 ・設計や手すりの取付だけでなくの経費は困難。全体の仕事の中でバランスをとることが必要。
B氏 新日本建築家協会	<p><流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図面を書く→見積（工務店）→本人を交えて実際に細部をつめる ・役所へも必要時には行ってもらう→フォローはこれによって行う。 <ネットワーク> ・スタッフ20名（福祉関係者5人、弁護士1人、建築士） ・広告で相談室を宣伝/口コミでの来訪が多い/協会は公的機関であり特定工務店の紹介は困難。 <マニュアル> 参考程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康者に高齢者向けのものを勧めることはあまりない。しかし中には将来を見越した人がいる。 ・設計→施工の横渡しが困難（誰に頼んでよいか分らない） ・見積のチェックが困難。図面通りかの現場管理が困難。 ・高齢者の場合本人の拒否反応もある。 ・報酬の問題。 ・協会があればノウハウのたのみの設計をしたい。組織としては勉強会をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計→施工の横渡しが困難（誰に頼んでよいか分らない） ・見積のチェックが困難。図面通りかの現場管理が困難。 ・高齢者の場合本人の拒否反応もある。 ・報酬の問題。 ・協会があればノウハウのたのみの設計をしたい。組織としては勉強会をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問は有料。協会の規定料金が決まっている。 ・福祉関係者はボランティア的な側面が大きい。現在協会で基金を作り金銭面で不足を補うよう動いているが、実現は困難。
C氏	<p><流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問して相談に応じる/工務店にはやりを販売している店を指示。 <ネットワーク> ・市の福祉課より連絡がある。講演会の参加者からの依頼もあった。 <マニュアル> ・身障者で住宅改善相談の手伝いをしていたことがあり、そこで学んだノウハウを活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階に介護者の寝るスペースも確保。 ・リフトの場合鍵の付け方が難しい。 ・寝室・トイレの動線が一直線になるよう提案。 ・健康者は将来障害を持つことを考えるのは抵抗がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役所から住宅相談の依頼があり訪問しても、住宅以前の問題（介護の手等）があり、リフトの取付問題から考える必要がある。実際の改造には至らない。 	
E氏 自治体の委託による福祉協議会福祉協議会の住宅相談	<p><流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話による予約→一次相談（リフト作成、病児、ADL、家族関係、住宅の問題点）→二次相談（専門家による相談、図面を持参してもらう） ・時間内で終わらなくても一時間程度原則/改善後の問題はあまり持ち込まない/二回来訪しても良い <ネットワーク> ・福祉事務所の職員に住宅改造に関する講習会を実施しており、その間に住宅相談を行っていることを認知してもらう/病院からの紹介もある ・曜日によりOTと一緒に相談にのる。通常は建築士及び保健師等医療福祉の専門家と7人。 ・4.5年前より県内の民間人で高齢者問題を扱う研究会を実施/女性建築士の会でも勉強会を実施 <マニュアル> ・住宅改造に関する講習会を実施するときは全社協会のリフトを利用/細かな寸法は人により異なるためリフトには行かない/相談時に展示室と一緒に行きリフトを使うこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ・OTと一緒に相談にのることもあるが他の病院のOT等についている人にはリフトがなじみづらい。 ・一人一時間では足りない。 ・県内でかなり遠方から来訪する人もある。地区ごとにあればよい。 ・建築士会のリフトとして派遣されており、特定の業者の紹介は出来ない（建築士会として設計事務所、工務店などのリフトを作ろうとする方向はある）。 ・リフトの講習会参加者の名簿があるが技術的に熟練した人ばかりではない。 ・相談だけで実現しているのか分からず役立っているのを目にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭面に関係しないものはリフトが利用できるが、予算に関係するものは証明が必要。経済的に余裕がない人が多い。 ・報酬は福祉協会の専門相談員報酬規定による。個人事務所では受けるときは建設者の設計管理報酬基準に基づく。 ・増改築は下見が必要。管理費が高いなど制約増し。 	

付録6 江戸川区助成制度協力業者に対するヒアリングの概要

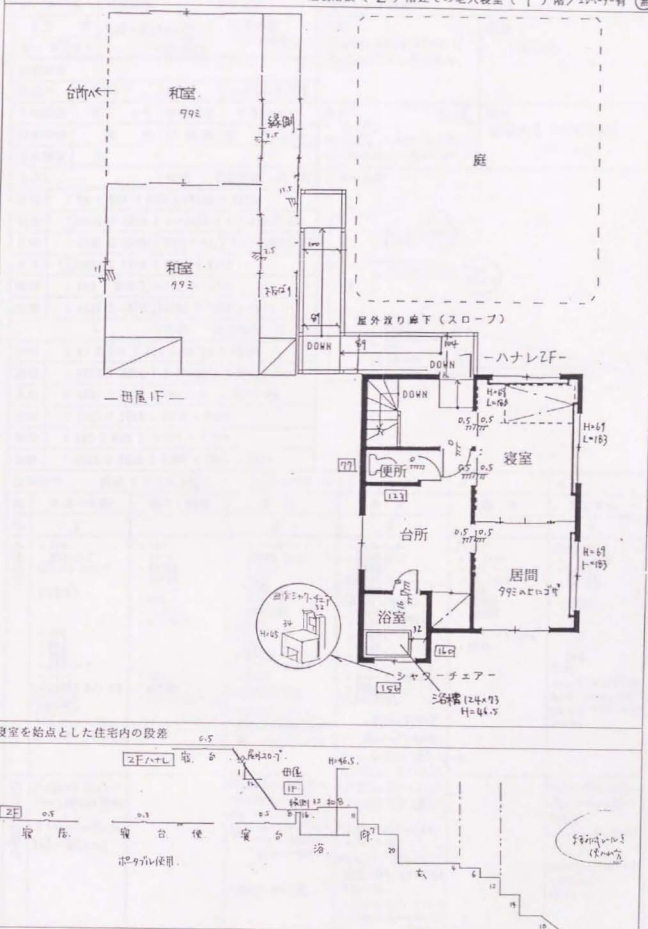
組織の概要・協力の実績*	改善の流れ・協力業者等	協力の目的・方針・デメリット	資料収集の方法
住宅設備関係会社	<ul style="list-style-type: none"> ・区から連絡を受ける(名前、電話番号、年齢、住所、改善内容の概要、訪問予定日)→一緒に訪問・工事内容の決定(主に区職員が決定)→ラフな図面作成→正確な図面作成、二回目の訪問からは工務店も同行。 ・担当者は初回訪問から完成まで一貫して関与する。 ・言われた範囲内で工事、手ずりの場合はこちらが良い等適宜意見を伝える。 ・特定の下請け業者があり改善の規模に関わらずここに依頼、非常に協力的で小規模の仕事でも動いてくれる。 ・0円・PT等との連携はこちらでは特に考えていない。 ・改善後の1ヵ月・道路調査を6件実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、身障者対応について会社でも大きな商品線と見ている。しかしなかなかPATしないし将来的にもできるかどうかかわからない。 ・高齢者対応は77歳と全体の177人中、高齢者向けの施工を特別仕様として扱えなくても良いと考えている。 ・先端で「Z」を発見し、商品の開発、提案に結びつけられる。(手ずりは実際に具現化した) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区や施工業者に教わる面もある。 ・77歳を参考にすることがより実際の体感に参考になる。 ・会社全体としても勉強する体制にある。訓練を抜き勉強会を実施、最近の新しい商品、厚生省の動向、望まれている商品等情報交換、77歳調査等も実施。 ・77歳「Z」の勉強会を実施、新たな情報が入った。この提案をどう考えようかなどで議論し、提案書を作成している。 ・建設省77歳相談員研修への参加;あまり参加せず、講習だけで終わってしまうが技術的な事より身体機能に関する症状別の知識等を知りたい。
建設業者組合A	<ul style="list-style-type: none"> ・組織概要/・工務店数:65社、組合員:9800名(3割は独立)、区会館から参加、事務職員23名。 ・各工務店の規模:1名~10数名 ・建築士大規模な工務店にはいる、関連業者としてほとんどもは抱えている。 ・業務内容:77歳、住宅建築が中心。 ・当制度協力業者は組合員から毎年募集する ・協力実績/・件数:239件 ・総額:約13,108万円 ・見積平均金額:約55万円 ・規模:小規模な改造が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・区に依頼を受けて、仕事の大小に関わらず順番で請け負う。 ・区がほとんど改善内容を決定 ・安全性、見栄え等必要なことは提案する。 ・依頼者、介助者、役所、大工の4者で関わる。病院関係者が関わることは少ない。遠征して来る人の場合には関わる。 ・工事が終了後も年1回程度は顔を出し相談に来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合は公共性があり、利益中心の活動ではないことが基本理念にある。 ・地域貢献のため、住宅改造だけでなく地域、家庭を見守っていきたい。生活面での助言もする。 ・地域の産業振興、経済発展という意識もある。経済的にも地域で請っていくことは1ヵ月がある。 ・他の仕事に結びつくことも少しはあるがこの制度に限ってこの工務店を利用する人がほとんど。
建設業者組合B	<ul style="list-style-type: none"> ・組織概要/・組合員:3400名 ・江東、葛飾一部、千代田西部から参加、江戸川区からは約1000名、やや規模の小さい(5、6名)の工務店所属者が多い。 ・業務内容:大規模な規模の工事を請け負う。 ・当制度へは江戸川住宅わがやという組合内の組織で対応。(江戸川住宅わがや小修繕のための工務店助成制度のために10年程前は、現在18社、大工16名、毎年メンバーを募集しているが定員不足も増加していない) ・協力実績/・件数:約45件 ・見積総額:約2,743万円 ・見積平均額:約61万円 ・1件約1万円~280万円位 ・徐々に低価格、部分的工事が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず順番で工事を請け負う。 ・家系の要望、区職員の意見、大工が専門家としてアドバイスして内容を決定、区職員が手ずりの位置等も指示。 ・年に1、2度工事した家を行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的な77歳は特でない。地域の人々に町場の工務店の良さがわかってもらえればよい。 ・区に依頼で行く中でも安心して一歩下がって対応してくれる。 ・多少はボランティア精神 ・喜んでもらうとやりがいもある。相手に真心も通じる。 ・ついでに他の所も依頼してくる人も少しはいる。 ・手ずりの設置程度でも10日~1,2週間かかる。
指定建設会社	<ul style="list-style-type: none"> ・組織概要/・従業員数15人 ・建築士1、2級建築士3名、本道建築士2名、1級施工管理2名 ・業務内容:Z等個人で請け負う。民間関係の仕事が多い。 ・協力実績/・件数:70件 ・そのほか図面作成時に死亡した者も2年11月現在で10人位。 ・見積総額:7,444万円 ・見積平均:106万円 ・規模:大規模なものが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善内容の決定は社長がほとんど参加、建築士はケースにより参加。 ・本人が入院中で自宅にいない場合病院のPT-07を呼ぶこともある。15分~1位、こちらから区を通して依頼する。 ・全体の1割程度は社長自ら回って77歳する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社長が77歳前高齢者向けの「A」77歳を作る等独自で活動。 ・商売としては厳しい、会社の仕事のごく一部。 ・利用者が感謝してくれる。 ・一般の職人が社会性に目覚める。 ・77歳に登場する喜び(評価される喜び) ・社長が新築、改築時にあらかじめ77歳を考慮するようになって来た。

*協力の実績 平成3年4月現在

	改修時の配慮事項	改修時の問題点・苦労した点等	費用・見積書について	今後の意見・要望
住宅設備 標準 調査 会社	・使う人の立場になって考える ・印象を悪くしないよう気を使う ・最近が高齢者より身障者が増加しつつある。障害者重度化。 ・高齢者は介護者の負担を軽減するような改修が大切 ・詳細には本人に必ず動いてもらい確認する ・本人等が我慢している「ズ」をうまく引き出すことも大切 ・すり設置に伴う廊下幅の減少等は見本を見せて了承してもらう	・住み慣れた住宅に傷がつくこと。改修によって様々な配置が変わること等特に介護者はやや抵抗があるようだ。 ・障害者の生活も考慮する必要がある。難しいことがある。 ・当社は自分の「対面」をすく見せ、色や形を見せながら説明できるのよい、新しくなることには本人・家族とも積極的な一面もある。 ・重いのこ、パルクの目ざら、給湯器の操作性、パルクの操作性等が問題 ・工事に手間がかかる	・金額がやや高いと区に対して申し訳ないが、住上がり、技術が良いので許容してもらっている ・予算の上限は厳しいが区の方では見積りに対しては特に言及しない ・設計料、現場管理費として額を決めてはいい、目標は2割程度、段階により異なる。 ・福祉機器は機器メーカーに発注。あるいは区から直接メーカーに発注2割程度の割引がある。 ・見積書の統一に対して、項目の統一は図れる。	・区との協力体制を重視。業者としてもこれを拡充して行きたい。たとえば病院との連携等。 ・予算ではPAVしていないがPAVは全体を考えると技術向上させている。商品7は増加。高齢化するのを考えたPAVは4の7ドは10である。 ・新たな業務の増加。福祉機器等新たな分野が加わった。 ・解決のために所長同士で知識を出し合うようになった。 ・使用者の喜びがえるため、目標達成のための使命感、誇りをどうするのができた。
建設業 者 組合 A	・老人及び介護者の心身状況を把握しないといけない。 ・家庭の事情を得ながらする事が必要。 ・手すりの取り付けの際に本人の視力を判断するために手を握るなど独自の工夫をしている者もいる。	・仕事は間違いがあっては困るので難しい。 ・完全な個人生産。 ・建築士だけでは対応できない。密な仕事。	・経費の2割は組合で家賃、2割程度はということと23%となる。本来は規模に応じて決めるべき。 ・見積書の7は組合事務でしている。 ・費用は材料、工事、経費からなり、材料、工事の費用の出し方は組合で決めている。 ・組合の統一形式。図面書き方例、単価基準等。近頃毎月作成。少し余裕を持たせてあり、その基準以上のものを作成するようにしている。 ・見積書は区に作成してほしい。区として協定単価は不可能ではないが、きつはできない。 ・福祉機器等の共同購入の可能性はある。しかし4者会議で自由裁量で決めた方が楽だし共同購入しても価格あまり変わらないのでは。	・当組合では65社が主とあって1社といった方針。会議や研修会(年1、2回)は戸川支部にて、見積書、図面の書き方等指導への参加等義務教育として実施し、全体のレベルの向上をはかっている。 ・改修時に病院関係の専門家が入った方がさらに良い。3ドは3ド、4ドが必要。経済的援助も不可欠。行政にパルクの中心になってもらいたい。 ・区は自ら出かけて地域と一緒に行動する基本的理念が大切。 ・工務店側にも多少自由度があった方がやる気や工夫、努力の余地がでる。 ・制度の問題点として、借家人、集合住宅への対応、まちづくりをどうするか問題。
建設業 者 組合 B	・訪問時には何れにでも対応できるように資料を作っておく必要がある。3ド7を色々用意して行く。	・特に苦労した点はない。往々といえないところ等無理なものも当初に伝える。	・工賃は統一。全連協定賃金。 ・見積書の統一の話はしており、あった方が楽だが反対する人もいる。 ・工事に実際かかる価格はやたを割ってみなければわからない部分があり難しい(土台が腐っていた等) ・見積書の統一は考えていない。仕入れの仕方により価格は異なるため工務店ごとに違う。共同購入すれば統一できるが現在は行っていない。	・今後もし引き続き協力する。行政側の要望に対応しないといけない。 ・関係者の定例会でもっとこうした改修について言いたい等の話ができることもある。
特定 建設 会社	・定額な改修はせずに90%になる部分を残しておくが良い。 ・汚しても良いようにしておいてあげても良いのでは。東京の生活は清潔すぎる。 ・大型の機器等は後で取り外せるようにしておくことも大切(福祉機器取り外し例は7-2) ・玄関カー等可能なものは社内で保存しておき他の3ドに利用する。 ・介助のこと等出来るだけ家族を呼び込め残す努力をする(最終的には区職員が判断する) ・問題が定かぬよう例えば手すりの設置の際には本人に試してもらう。 ・良い改修のためには高齢者が心を配ってくれる個性を持ち、合わせてこちらの技術が必要。	・利用者の「アタリ」に触れて悪態等を聞くことがある。 ・利用者の中には不当に多くの改修を望んでいる。 ・家が古く建築的に好ましくない。15坪程度と低賃等では7-7が設置も困難。(江戸川区は建て売りが約50戸) ・仕事が細かく、関与する業者は多いため手配が大変。組合のように一人で全部出来る職人がいればよい。 ・工事中の車の置き場にも困る。 ・家族で誰が中心となり介助をするのか曖昧なことがある。どこまで改修すればよいのか判断しづらい。	・見積もりでは手回費は手すり等材料に含めている。 ・経費は1日訪問3万円、それ以上は5万円。 ・日本建築協会の7-7を参考にしている。 ・機械側は高くとも安く購入できない。 ・福祉機器の価格が高い。工務店での購入、電器配線、助成工事をして機器メーカーは設置するだけなのに機器自体の定価が高くて大部分を占める(120万円中100万円等) ・工事金額は仕事の手間と比べ少ない。 ・仕様書は独自に決めている。	・好きでないと協力できない。 ・人手不足が深刻。建設業が全体で人手不足。高齢者対応をしようとする人は少ない。

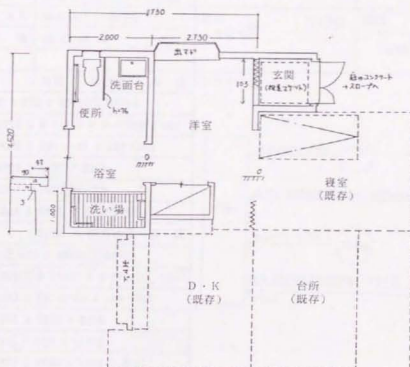
プラン図

建物階数 (2) 階建ての老人寝室 (1) 階 / エレベーター有 (無)

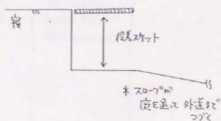


プラン図

建物階数(2)階建ての老人寝室(1)階/エレベーター有



寝室を始点とした住宅内の段差

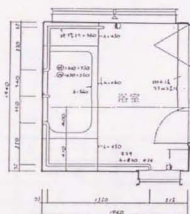
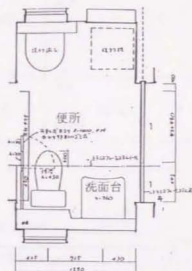
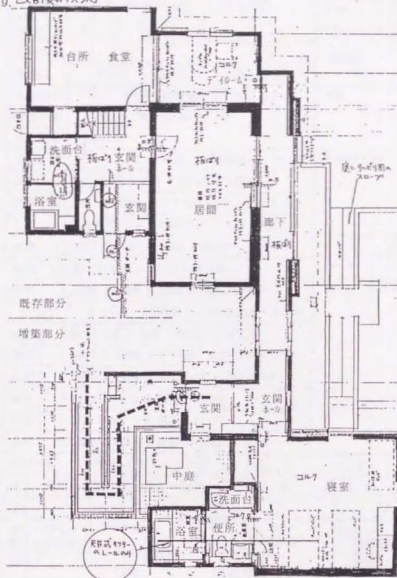


[illegible]

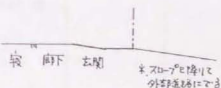
プラン図 all

建物階数(2) 階建ての老人寝室(1) 階/エレベーター有

9. 既存部分の寸法

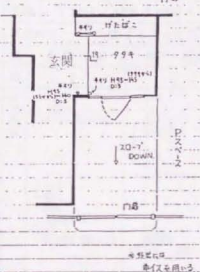
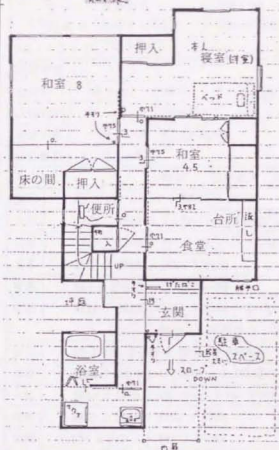


寝室を始点とした住宅内の段差

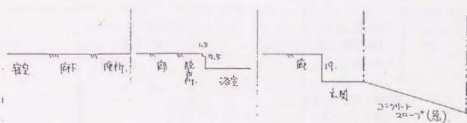
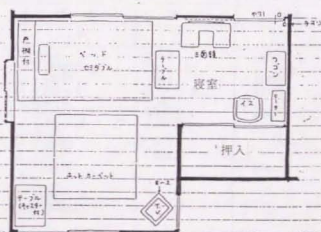
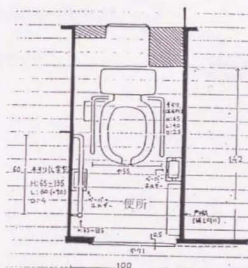
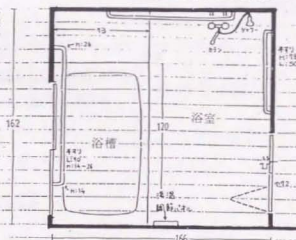


ケース 10 Ⅲ④ 57才 身長 1② 345	家族形態 息子3名家族に同居 (息子2人)	住居形態 持家内建	改造に至る経緯				
運動障害			息子 ① 息子と同居し ② 杖に 新築				
発病日 1983 疾患 脳梗塞			設計 補助				
入院期間 1年 6ヶ月 障害部位 左片まひ			Aハウス Tよし				
障害手帳 級 種 言語 聴覚 視覚 内部 手すり			プロセス図				
主介護者 家政婦			息子 ① 新築・設計 工事完了 ② 施工 ③ 新築・設計 工事完了 ④ 施工 ⑤ 新築・設計 工事完了 ⑥ 施工				
ADL			Aハウス				
歩行 1 独歩 ② 杖自立 3 杖介助 4 車椅子自立 5 車椅子介助							
排泄 ① 主室自力 2 主室介助 3 ホータブル自力 4 ホータブル介助 5 他つ							
入浴 1 主室自力 ② 主室介助 3 介助シャワーのみ 4 入浴サービス利用							
食事 ① 主室自力 2 主室介助 3 個室自力 4 個室介助							
移乗 ① 自力 2 妻介助 3 ベッド自力 4 ベッド介助							
姿勢 ① 自立立位 2 介助立位 3 自力横臥 4 介助横臥 5 寝たり							
↓							
歩行 1 独歩 2 杖自立 3 杖介助 4 車椅子自立 5 車椅子介助							
排泄 1 主室自力 2 主室介助 3 ホータブル自力 4 ホータブル介助 5 他つ							
入浴 1 主室自力 2 主室介助 3 介助シャワーのみ 4 入浴サービス利用							
食事 1 主室自力 2 主室介助 3 個室自力 4 個室介助							
移乗 1 自力 2 妻介助 3 ベッド自力 4 ベッド介助							
姿勢 1 自立立位 2 介助立位 3 自力横臥 4 介助横臥 5 寝たり							
改造内容			規模	1	2	3	4
変更	外道へ玄関	廊下・階段	便所	浴室	寝室	LDK他	
現状	7	7	7	7	7	7	
改造内容	・手すり ・洗面台スロープ ・コンクリートスロープ ・手すり ・廊下の改修 ・スロープ ・洗面台スロープ ・エレベーター ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター ・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター ・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター ・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター ・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター ・手すり ・スロープ ・洗面台の改修 ・手すり ・トイレの改修 ・エレベーター	
改造後の問題点	手すりの設置が難しい。	水回りの改修が必要。	水回りの改修が必要。	水回りの改修が必要。	水回りの改修が必要。	水回りの改修が必要。	

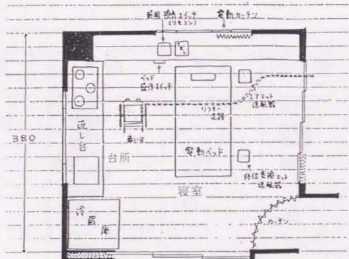
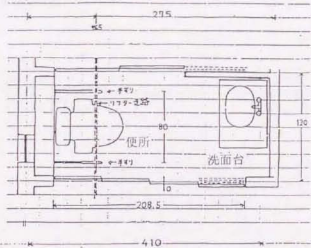
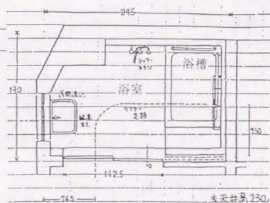
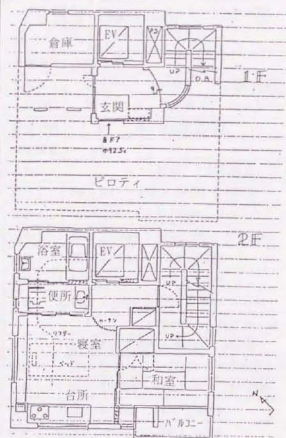
プラン図 新築 建物階1



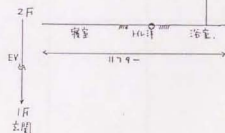
寝室を始点とした住宅内の段差



プラン図 新築



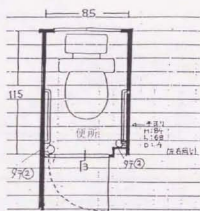
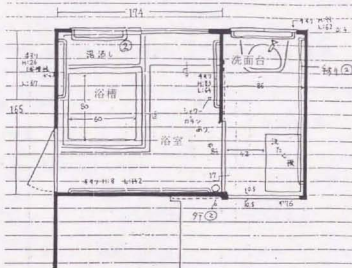
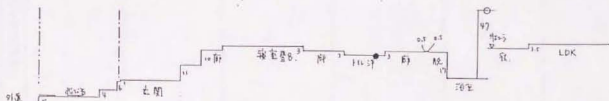
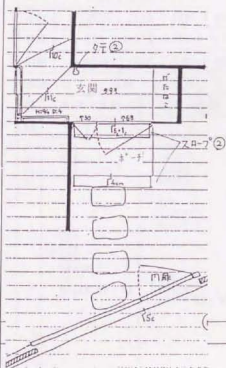
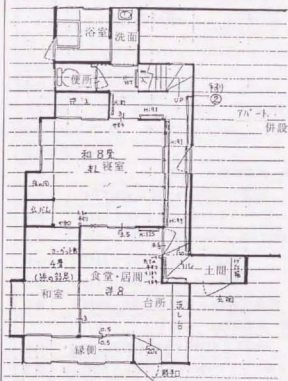
寝室を始点とした住宅内の段差



[illegible]

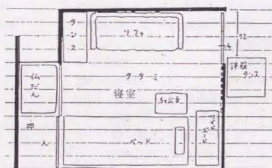
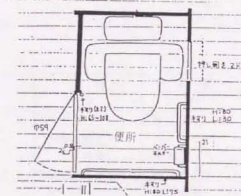
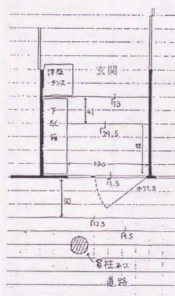
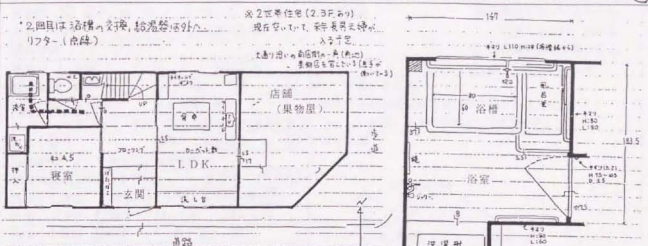
プラン図

建物階数 (2) 階建ての老人寝室 (|) 階 / エレベーター有 (無)

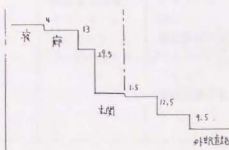
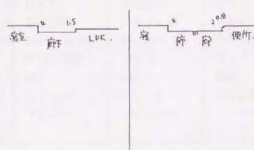


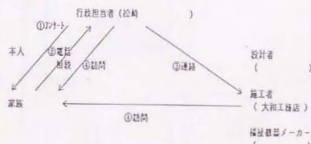
プラン図

建物階数(3) 階建ての老人寝室(1) 階/エレベーター有



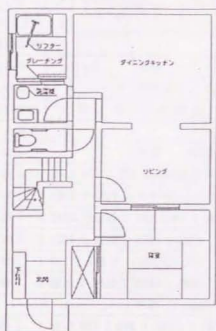
寝室を始点とした住宅内の段差



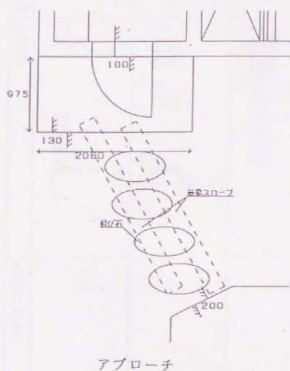
ケース37	家族形態	住居形態	改造に至る経緯			
性別男	息子、嫁、孫	持ち家、一戸建て	改造の動機		援助制度を知ったきっかけ 「広報えどがわ」を見た。 区の前調査で知った。 主人の姉が新聞で見た。	
年齢	77才	木造(2階)				
運動障害						
発病日	SS8	疾患	脳内出血			
障害部位	右片マヒ	障害手帳	2級 種			
健康状態	時々悪い	主介護者	嫁			
コミュニケーション	視覚 聴覚	言語	意思の疎通 (記憶)			
ADL能力	時期	1回目改造 前・後	本人、家族の参加度 本人あるいは家族が改善内容に関する意見を述べた。 トイレの開口、浴室の段差について述べた。			
移動能力	立って歩くことはできない		アロセス図			
使用補装具	①杖 ②杖 ③杖 ④杖 ⑤杖	住宅内 外出時				
排泄	1 排泄 2 排泄 3 排泄 4 排泄 5 排泄					
入浴	1 入浴 2 入浴 3 入浴 4 入浴 5 入浴					
移動	1 移動 2 移動 3 移動 4 移動 5 移動					
移動能力	立って歩くことはできない					
使用補装具	①杖 ②杖 ③杖 ④杖 ⑤杖					
排泄	1 排泄 2 排泄 3 排泄 4 排泄 5 排泄					
入浴	1 入浴 2 入浴 3 入浴 4 入浴 5 入浴					
移動	1 移動 2 移動 3 移動 4 移動 5 移動					
改造内容	規模	1 2 3 4 5 6 7				
改造回数	① ② ③ ④					
計画	アプローチ	玄関	廊下	階段	便所	浴室
内容	2				3	5
改造内容	○スロープ ・平坦化 ・手すり ・床材変更	・簡易スロープ ・スロープ ・出入口踏み台 ・手すり ・建具 ・面積拡張 ・ホール踏み台 ・土間床仕上げ ・面積拡張 ・段差スケルトン ○床材変更 (フローリング)	・手すり ・床かさ上げ ・敷居変更 ・簡易スロープ ・敷居踏み台 ・幅拡張 ○床材変更 (フローリング)	・手すり ・リフト ・滑り止め ・スイッチ ・照明変更 ・幅拡張 ・勾配変更	○手すり ○便器 (形式) 位置 ○暖房洗浄便座 ・床上げ ・据置便座 ・面積拡張 ・床上げ ・敷居交換 ・幅拡張 ・建具 扉形式	○手すり ・バスマット ・すのこ ○床かさ上げ ・敷居交換 ・幅拡張 ・建具 扉形式 開き勝手 取手変更 ・敷居踏み台
洗面所	洗面・食室	寝室	居間	便所	浴室	
改造内容	・蛇口変更 ・手すり ・床かさ上げ ・床補修 ・敷居変更 ・幅拡張 ・洗面台変更 ・建具 ・スイッチ ・コンセント	・蛇口 ・流し台配置 ・流し台形状 ・面積拡張 ・床かさ上げ ・幅拡張 ・手すり ・建具 ・スイッチ ・コンセント	・幅拡張 ・敷居変更 ・床かさ上げ ・踏み台 ・洋室化 ・面積拡張 ・手すり ・建具 ・寝室位置変更	・幅拡張 ・敷居変更 ・床かさ上げ ・洋室化 ・面積拡張 ・手すり ・建具 ・カーペット	・トイレ位置変更 ・水洗レバー変更 ・リフター ・緊急通報装置 ・スイッチ ・コンセント ・ペーパーホルダー	○浴槽替え ・給湯器替え ・面積拡張 ・移乗台 ○シャワーチェア ・バスボード ・バスシート ・蛇口 ・緊急通報装置 ○リフター (2.7m) (2.8m) ・スイッチ ・浴室位置変更

ケース(20)プラン図

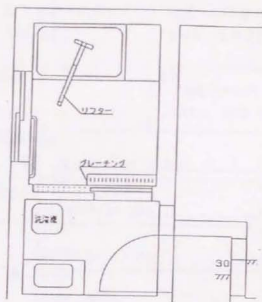
建物階数(2)隣建ての老人居室(1)階/エレベーター有(無)



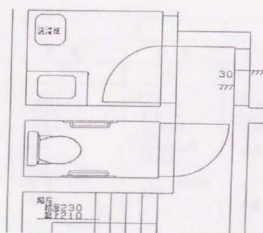
平面図



アプローチ



浴室・洗面所

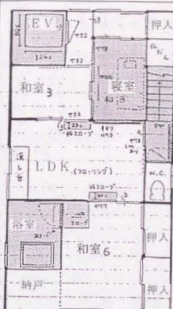


便所

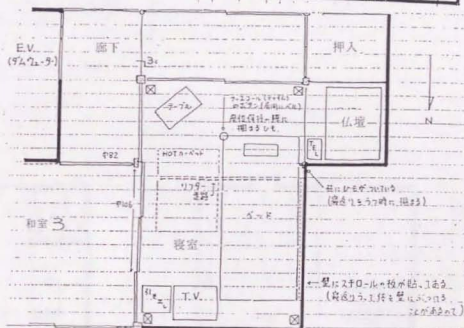
[illegible]

プラン図

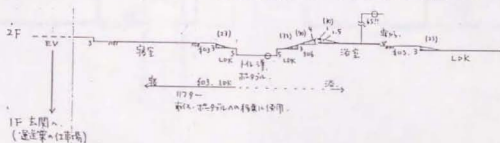
建物階数(2) 階建ての老人寝室(2) 階/エレベーター 無



※2F建て2Fが住む
1Fは連立車(右図)の駐車場



寝室を始点とした住宅内の段差



ケースNo.	家族構成	住居形態	改造に至る経緯 <きっかけ>	<経費>
男 女 74才 分限 1 2 3 4 5	見守り婦 + 本人	持家戸建て	本人の発症で介護が困難。女が市友報を見て依頼	
運動障害	左片マヒ		<設計>	<補助>
見病日	昭和29	疾患	夏目設計事務所	市の福祉課補助
入居期間	3ヶ月 + 昭和	障がい種別		
障がい種別	こけし	言語 視覚 聴覚 15部		
主治医	家			
ADL	時期 / 回復状況 前・後	プロセス図		
歩行	1 独歩 ② 杖自立 3 杖介助 4 車椅子自立 5 車椅子介助			
排泄	1 主室自力 ② 主室介助 3 ポータブル自力 4 ポータブル介助 5 おむつ			
入浴	1 主室自力 ② 主室介助 3 介助シャワーのみ 4 入浴サービス利用			
食事	1 主室自力 2 主室介助 3 寝室自力 4 寝室介助			
移動	1 自力 2 自力介助 3 ベッド自力 4 ベッド介助			
姿勢	1 自立立位 2 介助立位 3 自力座位 4 介助座位 5 寝たきり			
現在 ↓	時期 / 回復状況 前・後			
歩行	1 独歩 2 杖自立 3 杖介助 ④ 車椅子自立 5 車椅子介助			
排泄	① 主室自力 2 主室介助 3 ポータブル自力 4 ポータブル介助 5 おむつ			
入浴	1 主室自力 ② 主室介助 3 介助シャワーのみ 4 入浴サービス利用			
食事	1 主室自力 2 主室介助 3 寝室自力 4 寝室介助			
移動	1 自力 2 自力介助 3 自力自力 4 ベッド介助			
姿勢	1 自立立位 2 介助立位 3 自力座位 4 介助座位 5 寝たきり			

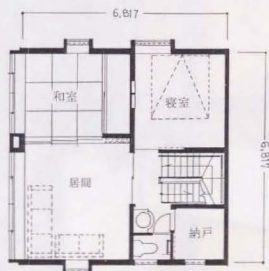
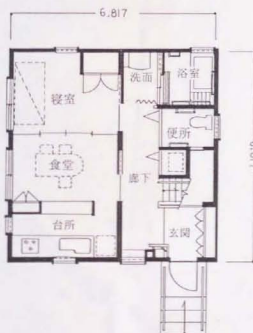
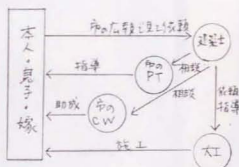




写真1 冷たい手すりにタオルでカバー



写真2 握れない板状の手すり(上), 下の手すりは改善後



写真3 横の前の可動手すり



写真4 可動手すり端部



写真 5 玄関への可動手すり



写真 6 可動手すり端部



写真 7 扉前にも連続する手すり



写真8 急なスロープ



写真9 携帯用スロープの足部分(レクタ-バ イ')



写真10 取っ手が持ちづらい携帯用スロープ



写真11 二通りの幅で使える便所の折れ戸



写真12 四分割したすのこ

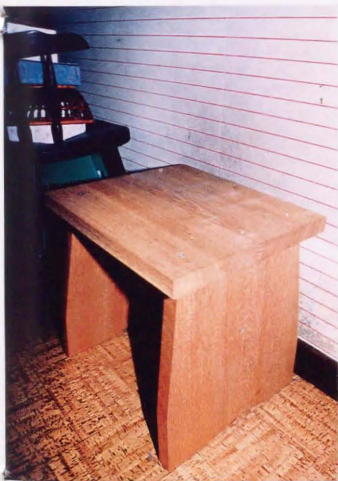


写真13 重い木製移乗台



写真14 軽いパイプ+木製の移乗台

1. 高齢世帯等調査

(1) 調査票

東京都福祉調査員 第1-31号

高齢者の住まいに関する調査

平成元年12月

調査主体：東京都生活文化局
調査企画：東京都職員研修所調査研究室
調査実施：社団法人 新情報センター

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力下さいようお願い申し上げます。

〔ご記入いただく上でのお願い〕

★ この調査は、世帯にお住まいの65歳以上の世帯主の方の、生活や住まいについての状況を把握し、今後の市の施策に役立ててもらう目的として、東京都福祉文化局が、調査員を随所に派遣して行う調査です。

★ 調査の結果は、統計的に処理しますので、個人のご住所等は、絶対に表に出ることはありません。また、調査結果は、上記の目的以外には一切使用されません。

★ ご記入にあたっては、次の点にご注意ください。

1. ご記入は、なるべく世帯主の方で自分にお断いいたしますが、もし、お一人ではご断理の場合には、ご家族の方のご協力をお願いいたします。

2. 回答は、あてはまる方だけ、○印を○つけ下さい。質問によっては、○印は2つ以上でもかまいません。

3. 回答が「その他」にあてはまる場合は、カテゴリーに具体的な内容を記入して下さい。

4. 質問は、何となくわからないもの以外は、平仮名でも構いません。

④ 調査方法

ご記入の調査票は12月9日(土)～10日(日)の間に調査員が回収いたします。特に、お断いいただく必要はありませんが、調査員のお断いした際には、ご協力の方、よろしくお願い致します。

⑤ 調査の実施は、専門の調査機関である(株) 新情報センターに委託いたしました。調査の内容や回答方法などについてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

社団法人 新情報センター
電話 03-560-5231
担当：田島・佐野

はじめに、あなたご自身及びご家族のことについてお填じします。

問1 あなたの性別をお答え下さい。

1 男	2 女
-----	-----

問2 あなたの年齢はおいくつですか。

歳	十	歳
---	---	---

問3 あなたも含めて現在一緒ににお暮らしになっているご家族は何人ですか。

十	人
---	---

* 住み込みの家事手配も数えます。住み込みの従業員や下宿人は除きます。

問4 あなたが現在一緒に暮らしているいらい、あなたの家族はどのような生活をお送りしていますか。

1 一人暮らし
2 夫婦のみ
3 あなた又はあなたの家族と、婚姻関係のない子孫のみ
4 あなた又はあなたの家族と、子孫関係のみ
5 その他()

問5 現在の住まいは、次のうちどれにあたりませんか。

1 付家(一軒、土地も自分のもの)
2 付家(一戸建、土地は借借)
3 付家(長屋)
4 付家(共同の分譲マンション)
5 付家(公団・公社の分譲マンション)
6 民間借家(一戸建)
7 民間借家(長屋)
8 民間借家(マンション、アパート)
9 公営・公団・公社の賃貸住宅
10 転り住宅(社宅、官公庁など)
11 同棲、下宿
12 その他()

* 長屋棟とは、二つ以上の住宅を一軒に建て建て連れたもので、いわゆるガラスハウス、タワンハウスを指します。

問6 現在お住まいの市況は、どのような傾向にありますか。

1 上昇	3 プラットボ
2 新築需要コンクリート	4 その他(賃借品など)

問7 現在お住まいの住宅は、建てられてから何年かたちっていますか。

1 5年以下	4 20~30年未満
2 5~10年未満	5 30年以上
3 10~20年未満	

問8 現在の住宅にお住まいになって何年になりますか。

十	年	十	年
---	---	---	---

問9 現在の住宅はどのようなものでしょうか。また、そのお宅はどのような用途で使われていますか。

A 居住用の住宅	空
B 居住用の住宅の合計	空

* 居住用途とは、住宅、店舗、倉庫、事務所、飲食店など、工場、倉庫、事務所、飲食店、店舗

はあてはまいません。

* 空欄を記入していない居住用途の数は、0.5(1坪)を2割で除算して下さい。

(一戸建・長屋棟の住宅(付家、借家の別を問いません)に当るものの数を数えて下さい)

問10 敷地面積は何坪メートルですか。

敷地面積	千	百	十	平方メートル
------	---	---	---	--------

* 敷地面積は、敷地判についての敷地面積を記入して下さい。

* 1坪=0.566㎡で換算して下さい。

問11 あなたの、現在の住居の利便性はどのくらいですか。

1 どこへでも自由に出入りできる	4 利便性があるが、あまり利便性がない
2 近所から入りやすい	5 利便性がありすぎる
3 家の出入り口が狭い	6 利便性がない

問12 あなたは、現在、何か収入の作り方を考えていますか。

1 している	2 していない
--------	---------

問12-1 どのようなやり方をしていますか。

1 自営業(家事手伝いを含む)	4 臨時・非常勤・パート
2 会社または団体の役員	5 その他()
3 労働者の主人(正社員)	

問13 あなたは、すでに定期(預金)より一定年間で退職した場合は含みます)で退職された経験がありますか。

1 ある
2 定期(預金)より一定年間で退職した場合は含みます)で退職された経験があります
3 定期(預金)より一定年間で退職した場合は含みます)で退職した経験があります

問13-1 退職した時期はいつ頃でしたか。また、それは、お幾つのお時だったでしょうか。

A 退職した時期..... 昭和(平成)	年
B 退職した年齢.....	歳

問13-2 退職金の額は、おおよそどのくらいでしょうか。

退職金の額	万円
-------------	----

問14 (1) 勤労1年間の、あなたと、あなたの配偶者の収入には、どのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

(1) あなた	(2) 収入の項目	(3) 主な収入
仕事による収入	1	1
公的年金・遺族年金	2	2
株主優待(株主優待)	3	3
有価証券の売却益	4	4
貯蓄金の利息	5	5
不動産の売却益	6	6
公的年金	7	7
生活保護	8	8
その他	9	9

(1) 所得1年間のあなたと、あなたの配偶者の収入(円で〇をつけたものはすべての金額)はこの中どれにありますか。

1 100万円未満	6 500万円～600万円未満
2 100万円～200万円未満	7 600万円～700万円未満
3 200万円～300万円未満	8 700万円～800万円未満
4 300万円～400万円未満	9 800万円～1,000万円未満
5 400万円～500万円未満	10 1,000万円以上

問15 あなたの出資で、あなたと、あなたの配偶者以外に、収入を得ている人はいますか。

1 い	2 いない
-----	-------

問15-1 その方はどなたですか。あてはまる人すべてに〇をつけて下さい。

1 子孫	4 親
2 子供の配偶者	5 その他 ()
3 孫	

問15-2 あなたと、あなたの配偶者を除いた、1世の間の収入は、どのくらいですか。

1 200万円未満	6 600万円～700万円未満
2 200万円～300万円未満	7 700万円～800万円未満
3 300万円～400万円未満	8 800万円～1,000万円未満
4 400万円～500万円未満	9 1,000万円～1,500万円未満
5 500万円～600万円未満	10 1,500万円以上

問16 あなたと、あなたの配偶者が現在お持ちの、金融資産の概(預貯金、株式、債券などの有価証券)と、不動産所有の概(土地、建物の所有)についてお聞かせ下さい。

* あなたと、あなたの配偶者の世帯の資産(金融資産と不動産)を合算し、その総額をどのくらいと見なしていますか。

A 金融資産の概

1 100万円未満
2 100万円～1,000万円未満
3 1,000万円～2,000万円未満
4 2,000万円～4,000万円未満
5 4,000万円～6,000万円未満
6 6,000万円～8,000万円未満
7 8,000万円～1億円未満
8 1億円以上

問20 もしあなたの住が壊れてきた場合、現在お住まいの住宅の状況や間取り、設備などのために、あなたに思っているうえで売却と考える点はないでしょうか。

1 特に売却はない → (問21へ)

2 気になる点もあるが、おむね売却はない

3 やや売却がある

4 非常に売却がある

5 わからない → (問21へ)

問20-1 次に、あなた、あるいは家族があると感じるような点でしょうか。次の中から、3つまでを選んで下さい。

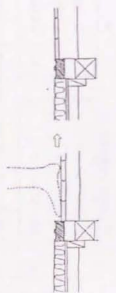
1 道路と玄関との間に段差がある	6 後者が多い
2 玄関と上り板との間に段差がある	7 介護・高齢者用いすべースがない・足りない
3 玄関ホールと寝室との間に段差がある	8 浴室が狭い
4 廊下と便所との間に段差がある	9 階段の幅が狭い
5 廊下と浴室・キッチンとの間に段差がある	10 浴室が狭い
	11 寝室が狭い
12 寝室と他の部屋が通れすぎている	
13 寝室と他の部屋が通れすぎている	
14 寝室と浴室が通れすぎている	
15 水漏れがある	
16 防犯に不十分	
17 収納家具が不安定でない	
18 防犯の網が壊れている	
19 階段に手すりがない	
20 階段に照明がない	
21 基本的な住宅設備がない	
22 寝室の暖房がうるさい	
23 寝室の日照が悪い	
24 寝室の通風が悪い	
25 寝室に虫の害がない	
26 バス浴や野湯で通い	
27 日常の買物をする商店まで通い	
28 病院まで通い	

問21 建築家の方が、安全で快適な、かつ目新しい住宅商品を作るための、住まいの工夫や応用設備について、あなたの工夫をお聞かせ下さい。

(1) 体が弱ってきただけなのに、安全に暮らせるための工夫として、例えば次のようなものがあります。

段差の解消

壁の下地を補強して手すりをつける



A あなたの住まいには、このようなものがありますか。

1 あ

2 な

A-1 段になっていませんか。

- 1 段になっていない
- 2 段になっていない

A-2 対策したいと思いませんか。

- 1 利用したい → (Bへ)
- 2 利用したいとは思っていない → (Bへ)

B (2)へお進み下さい。

B 手元利用したいとお考えの方におおしです。どのような工夫や対策が利用したいですか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで下さい。

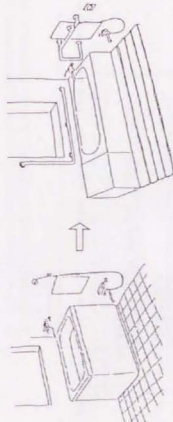
- 1 体が弱ってきただけなら、利用したい
- 2 体が不自由になっただけなら、利用したい
- 3 家の改善や修繕などの機会があれば、利用したい
- 4 品質がよいものかあれば、利用したい
- 5 価格がもっと安くければ、利用したい
- 6 役所などからのあっせんがあれば、利用したい
- 7 家族の都合が調整できれば、利用したい
- 8 その他
- 9 すぐにも利用したい
- 10 わからない

C 「利用も利用したいとは思わない」とお答えの方に伺います。利用したくない理由は何でしょうか。おたのめなさいに書いていただく2つまで記入して下さい。

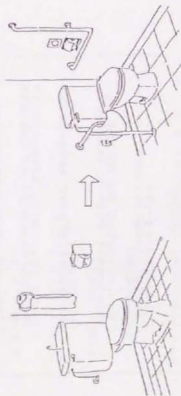
- 1 必要とは思わないので、利用も利用したくない
- 2 使い勝手が悪そうなので、利用したくない
- 3 費用がかかるので、利用したくない
- 4 手配や上りの曲がり角で、利用したくない
- 5 貸家なので、手配や上りの曲がり角は難しい
- 6 その他()
- 7 わからない

(2) 体の弱くても利用できる、自走した利用が広がるよう、例えは次のように自走の設備を改善する方があります。

浴室の改造（壁の品式を撤去し、手すりを設置した例）



便所の改造（便所に手すり、コンセント等を設けた例）



A おたのめなさいには、このような設備がありますか。



A-1 窓はありますか。

- 1 窓にあっていい
- 2 窓にあっていない

例 (1は2へお進み下さい)

A-2 浴室利用したいと思いませんか。

- 1 利用したい → (Bへ)
- 2 利用したいとは思わない → (Cへ)

例

B 「利用も利用したい」とお答えの方に伺います。どのようなことがあれば利用したいですか。おたのめなさいに書いていただく2つまで記入して下さい。

- 1 体が弱ってきたら、利用したい
- 2 体が自由になったら、利用したい
- 3 家の設備や設備などの機能があれば、利用したい
- 4 設備がよいものがある、利用したい
- 5 設備がもっとよくなる、利用したい
- 6 設備などからあつせんがある、利用したい
- 7 家賃のなかから設備としてくれば、利用したい
- 8 その他()
- 9 すぐにでも利用したい
- 10 わからない

C 「利用も利用したいとは思わない」とお答えの方に伺います。利用したくない理由は何でしょうか。おたのめなさいに書いていただく2つまで記入して下さい。

- 1 必要とは思わないので、利用も利用したくない
- 2 使い勝手が悪そうなので、利用したくない
- 3 費用がかかるので、利用したくない
- 4 手配や上りの曲がり角で、利用したくない
- 5 貸家なので、手配や上りの曲がり角は難しい
- 6 その他()
- 7 わからない

《計算の方を答えて下さい。》

簡易 あるいはお住まいで、型いている型簡易のお持ちのアンケート、あるいは型いている土地を、自由地が
借りたり、買い受けるなどして、点検まで住宅に型いている人に貸したり、地味地味などを作ったり
することについて、どう思われますか。(○は1つ)

- 1 自由地の家賃収入や地味地の持主を待ってくれるから、考えてもよい
- 2 今はいろいろ型簡易から無理だが、将来は考えてよい
- 3 到底無理だ
- 4 どちらともいえない、わからない

現在の住居費と、住宅の取得にかかった費用などについてお尋ねします。

《計算にお住まいの方のみ答えて下さい。計算にお住まいでない方は、簡易に記入して下さい。》
簡27 現在お住まいの住宅は、いつ頃、お持ちのとき、どのような方法で取得されましたか。

A 取得した時期..... 頃 (平成)	年
B 取得時の年齢..... 歳	年
C 取得した方法	1 新築または購入 2 借越・譲り

簡28 これまでに簡易地の取得で借入をしたことがありますか。

1 あり	2 ない
あ	はい

簡29-1 増改築、建て替えをしたのは、いつ頃で、それはお住まいの取得年月目でしたか。

* 2回以上、増改築などをしたことのある方は、簡易のものについてお答え下さい。

増改築、建て替え..... 頃 (平成)	年
増改築、建て替え..... 頃 (平成)	年

簡29 毎月の士業・家庭用入会費の額(いわゆる住宅ローン)の年代、管理費の支払額があれば、その金額を答えて下さい。

また、型簡易3年以内に入居した型簡易の建屋、組合費、型簡易費、型簡易費、型簡易費があれば、その金額についてお答え下さい。

* 単位は米圓は型簡易に入して下さい。また、型簡易の0と記入して下さい。

毎月の士業・家庭用入会費の額..... 円	十 万 千
A ローン返済の額..... 円	十 万 千
* 毎月のローン返済額に、ボーナス時の返済額を12で割ったものを加えた、月平均の額を記入して下さい。	
B 年代..... 円	十 万 千
C 管理費..... 円	十 万 千
* 管理費には、マンションなどにおけるいわゆる管理費のほか、テラスハウスなどにおける共用部分の維持管理費を含みます。	
D 型簡易の持主・組合費..... 万円	百 十 一
* 材料(備子類、型簡易など)の購入、サービスの購入(型簡易、型簡易の手間賃など)、型簡易工事(型簡易など)などに要した費用の合計額を記入して下さい。	
E 型簡易費・型簡易費..... 万円	百 十 一
* 土地・型簡易に対する型簡易6年間の型簡易費を記入して下さい。	

(簡易1へお進み下さい)

（持家以外の方のみ記入して下さい）

第50 毎月の家賃と共益費等の金額を記入して下さい。

また、入居時の敷金、礼金の額、契約更新時の更新料の額についても記入下さい。

* 千円未満は四捨五入して下さい。また、変更のない場合は〇と記入して下さい。

毎 月 の 支 払 額	A 家 賃.....	十 万 千	000 円
	B 共益費等.....	十 万 千	000 円
* 共益費とは、共用部分の光熱水費、清掃費等입니다。			
入 居 時 の 支 払 額	C 敷 金.....	十 万 千	000 円（家賃） に相当
	D 礼 金.....	十 万 千	000 円（家賃） に相当
契 割 時 の 支 払 額	E 契 割 料.....	十 一	000 円（家賃） に相当

（全員の方が記入下さい）

第51 現在の家賃のローンなどの借付負債についてどのようにお感じですか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 非常に負担を感じる | 4 全く負担を感じない |
| 2 少し負担を感じる | 5 わからない |
| 3 あまり負担を感じない | |

長い間、どうもありがとうございました。

「老後の住宅改造に関するアンケート調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私共では、老後の生活環境について継続的に研究を行っております。住み慣れた住宅で生涯を送ることは東西を問わず誰もが願っており、私共は老人の心身機能の衰えに配慮した住宅が必要であるといった考え方のもとに研究を進めております。

スウェーデンなど福祉先進国では、住宅の整備と各種のサービスを充実させ、心身機能が低下しても住宅に住み続けることが可能となっております。一方わが国では厳しい住宅事情もあり、まだまだ多くの問題を抱えているのが実態です。ただし、厚生省が「暮らしやすさ作戦」を打ち出しており、高齢社会に対する公的機関の積極的な取り組みが見られるようとなっております。

今後超高齢社会を迎え、人生80年時代に充実した生活を営む上でも、または在宅福祉を進める上でも、老人の心身機能を配慮した住宅をもっと普及していく必要があります。そのためにどのような人々がどのような問題を抱えているのか、さらに具体的に把握し、問題の解決に一つ一つ努力することが必要であると思われます。そこで私共では、実際に老人のお世話をなさっている御家族あるいは親戚の方々へ現在抱える住宅に関する問題点、ご意見などをうかがい、住宅整備の資料として設立して行きたいと考えております。

まことに恐縮ではございますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、調査は研究以外の目的に使用されることはなく、内容は統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。かきわて、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。はなはだ勝手ではございますが、3月15日(土)までにご返送くださるようお願い申し上げます。

平成2年11月15日

東京都老人総合研究所 生活環境部門 室長 林 玉子
東京都老人医療センター 部長 望月直哉

【記入上のお願い】

- ・調査用紙への回答は、封筒の宛名の方(調査の中ではご本人とお呼びします)を主に介護なさった方が記入下さい。
- ・現在ご本人が入院その他の理由で自宅におられない場合にも、住宅にいらした際の状況をできるだけ思い出して、各設問にお答え下さい。
- ・各設問のあてはまる項目の番号あるいは枠内に○印をおつけ下さい。
- ・その他()に当てはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的にご記入下さい。
- ・本調査に関してのお問い合わせは下記の担当者にお願いたします。
東京都老人総合研究所 生活環境部門 野村(かづ), 斎藤(みのり)
TEL (03) 964-1131 (内3133)

下記の質問について、該当する答に○印をおつけください。

問1. ご記入者

1) ご家族(続柄) () 2) その他()

問2. ご本人はどこでお暮らしですか。「入院前」「東京都老人医療センターリハビリ病棟退院直後」「現在」それぞれについて当てはまるものに○印をおつけ下さい。その他の場合は具体的に答えください。

		入院前	退院直後	現在()内に現在の状況に移った時期
1) 自宅、 子供や親 族の家等 の個人 の住宅	1. 持家(一戸建て)			(年 月)
	2. 持家(その他)			(年 月)
	3. 借家(一戸建て)			(年 月)
	4. 公営住宅			(年 月)
	5. 公団・公社賃貸住宅			(年 月)
	6. 民間賃貸アパート			(年 月)
	7. 給与住宅(社宅等)			(年 月)
	8. 間借り			(年 月)
	9. その他()			(年 月)
2) 病院	1. 当センター			(年 月)
	2. 他の病院			(年 月)
3) 老人 ホーム	1. 特別養護老人ホーム			(年 月)
	2. 養護老人ホーム			(年 月)
	3. 軽費老人ホーム			(年 月)
	4. 有料老人ホーム			(年 月)
4) その他()	()			(年 月)
	()			(年 月)

問3. 当センターリハビリ病棟退院以後、現在に至るまでの入院の状況についておたずねします。当てはまるものに○印をつけ、()内に数字を入れて下さい。現在老人ホームに入っている方は入るまでの状況についてお答え下さい。

入院の経歴の有無

1. ある → ①入院を繰り返した回数 → () 回
②入院した期間 → 約()年()ヵ月()日
③最後に退院した時期 → 昭・平()年()月頃
2. ない

問4. 当センターリハビリ病棟に入院前から現在に至るまでの間に、住宅から他の住宅に移したことがある方にうかがいます。その理由について、以下のすべての項目の「はい」か「いいえ」のあてはまる方に○印をおつけください。その他の場合は具体的にお書き下さい。

- 1) 介護人に関する理由（介護人がいない等）のため……（はい いいえ）
 2) 住宅に関する理由（家が狭い、設備が悪い等）のため（はい いいえ）
 3) 経済的理由のため……………（はい いいえ）
 4) その他〔 〕

問5. 現在病院あるいは老人ホームでお暮らしの方にうかがいます。病院あるいは老人ホームに入った理由について、以下のすべての項目の「はい」か「いいえ」のあてはまる方に○印をおつけください。その他の場合は具体的にお書き下さい。

- 1) 治療上の理由のため……………（はい いいえ）
 2) 介護人に関する理由（介護人がいない等）のため……（はい いいえ）
 3) 住宅に関する理由（家が狭い、設備が悪い等）のため（はい いいえ）
 4) 経済的理由のため……………（はい いいえ）
 5) その他〔 〕

問6. 当センターリハビリ病棟に「入院前」、「退院直後」、及び「現在」はどなたとご一緒にお暮らしですか。1～9の中から当てはまるもの一つに○印をおつけ下さい。「その他」の場合は具体的にお書きください。

現在入院中その他の理由で家におられない方は、「現在」の欄に「家にいた最後の状況」についてお書き下さい。

	入院前	退院直後	現在
1. 息子の家族と同居			
2. 息子の家族と隣居			
3. 娘の家族と同居			
4. 娘の家族と隣居			
5. 独居の娘や息子と同居			
6. 独居の娘や息子と隣居			
7. 未または妻と二人暮らし			
8. 一人暮らし			
9. その他〔 〕			

問7. 当センターへの「入院前」「退院直後」および「現在」の日常生活動作能力等の状況についてうかがいます。あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

現在入院中その他の理由で家におられない方は、「現在」の欄に「家にいた最後の状況」についてお書き下さい。

	入院前	退院直後	現在
排泄関係	1 便所内で自力でできる		
	2 便所内でできるが介助が必要		
	3 自宅で自力で床置き式のポータブル便器を使用		
	4 自宅で介助してもらい床置き式のポータブル便器を使用		
	5 便床上で差し込み便器やしびんを使用		
	6 おしめを使用		
	7 その他		
日常生活姿勢	1 自力で立位を保つことができる		
	2 介助があれば立位を保つことができる		
	3 自力で座位を保持することができる		
	4 介助や補助器具があれば座位を保持することができる		
	5 横になったままである		
移動	1 畳の上から自力で立ち上がることができる		
	2 畳の上から介助があれば立ち上がる		
	3 ベッドの上から自力で立ち上がることができる		
	4 ベッドの上から介助があれば立ち上がる		
歩行	1 普通に歩ける（ひとりでも自由なく歩ける）		
	2 ゆっくりなら歩ける、杖があればひとりで歩ける		
	3 一歩ずつゆっくりなら歩ける、杖があれば短い距離をひとりで歩ける		
	4 物につかまれば歩ける、介助されれば歩ける		
使用器具	5 いざって歩く、はって歩く		
	6 移動不能		
	1 杖を使用している		
	2 歩行器を使用している		
	3 老人車を使用している		
	4 車いすを使用している		

問8. 現在お住まいの住宅の状況についておたずねします。現在入院中その他の理由でご本人が在宅していない場合には、最後にいらした住宅についてお答えください。

1) 集合住宅に住んでいる方におたずねします。

① 建物は何階建て、住んでいる階は何階ですか。

() 階建て () 階

② 住棟のエレベーター

a. エレベーターはありますか。

1. ある 2. ない

b. エレベーターがある方におたずねします。エレベーターまでには段差がありますか。ある場合にはその段数をお書き下さい。

1. なし 2. あり→約() 段

③ 住宅外の階段

2階以上にお住まいで、ご自分の住宅の階に行くまでに階段を使う方は以下の問にお答え下さい。

a. 階段の一階分の段数は全部で何段ですか。→ 約() 段

b. 階段の踏み面は足がちゃんと乗るだけの充分な幅がありますか。

1. はい 2. いいえ

c. 階段には手すりがついていますか。

1. はい 2. いいえ

d. 階段には足元まで見える照明がついていますか。

1. はい 2. いいえ

④ 上記の階段以外にも、外部の道路からあなたの家の玄関扉までの間に段がありますか。ある場合にはその段数をお書き下さい。

1. なし 2. あり→約() 段

2) 戸建て住宅など、集合住宅以外の方におたずねします。

外部の道路から家の玄関扉の外側までの間に段がありますか。ある場合には段数をお書き下さい。

1. なし 2. あり→約() 段

3) 以下の設問についてはすべての方におたずねします。

① 設備の専用状況についてうかがいます。

a. 次の設備のうち、ご本人のお宅に専用にあるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 台所・流し 2. 便所 3. 浴室 4. 電話

b. この設問には若い家族とご老人が同居している家族のみお答え下さい。次の設備や部屋の中で、ご老人専用と若い家族専用と二つあるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 台所・流し 2. 便所 3. 浴室 4. 寝室
5. 居間(寝室とは別に居間として使える部屋) 6. 電話

② お部屋は全部でいくつありますか。(部屋には居間、寝室、食堂兼台所など日常使っている部屋をいれ、玄関・浴室・台所や店・工場など営業に使っている部屋または人に貸している部屋は除きます。)

部屋数() 室

③ 玄関付近の段差

a. 玄関扉の外と内では約何センチ位の段差がありますか。

約() センチ

b. 玄関の下足面から家に上がる部分(上がりかまち)は何段で、約何センチぐらいの段差がありますか。

約() 段 合計で約() センチ

④住宅内の階段

住宅内に階段はある方のみお答え下さい。

a. 階段の段数は全部で何段ですか。 → 約()段

b. 階段の踏み面は足がちゅんと乗るだけの充分な幅がありますか。

1. はい 2. いいえ

c. 階段には手すりがついていますか。

1. はい 2. いいえ

d. 階段には足元まで見える照明がついていますか

1. はい 2. いいえ

⑤便所

a. 廊下と便所の間には約何センチの段差がありますか

約()センチ

b. 便所の広さは縦横およそ何センチくらいですか。大小に分かれている場合は両方を加えてお答えください。

縦()センチ 横()センチ

c. 便所は腰掛け式(洋式)便器ですか

1. はい 2. いいえ

d. 便所には手すりはついていますか

1. はい 2. いいえ

e. 便所の扉の幅はおよそ何センチくらいですか。

約()センチ

f. 寝室(老人室)と便所の位置関係はどのようになっていますか。また、()内に大きな距離をお書き下さい。

1. 寝室から直接便所に入れる
2. 寝室の外に出る必要があるが同じ階にある。→約()メートル
3. 違う階にある

⑥浴室

a. 廊下と浴室の洗い場との間には約何センチくらいの段差がありますか。

約()センチ

b. 浴槽の縁は洗い場からおよそ何センチの高きですか。

約()センチ

c. 浴室の広さは縦・横およそどのくらいありますか。(脱衣室は含めないで下さい)

縦()センチ 横()センチ

d. 浴室の扉の幅はおよそ何センチですか。

約()センチ

e. 寝室(老人室)と浴室の位置関係はどのようになっていますか。また、()内に大きな距離をお書き下さい。

1. 寝室から直接浴室に入れる
2. 寝室の外に出る必要があるが同じ階にある。→約()メートル
3. 違う階にある

⑦寝室(老人室)

a. 専用の寝室(老人室)をお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っていない

b. 寝室(老人室)は何畳ぐらいの広きですか。

約()畳

c. 寝室(老人室)ではベッドを使っていますか。

1. はい 2. いいえ

d. 玄関を上ってから寝室(老人室)までの間に段差がありますか。段差がある場合には段数をお書き下さい。

1. 全く平ら 2. 敷居がある 3. 段がある→合計 約()段

- e. 次の部屋のうち寝室（老人室）と同じ階にある部屋すべてに○印をつけて下さい。

1. 便所 2. 浴室 3. 玄関 4. 台所 5. 食堂 6. 玄関

- f. もし万が一お体の具合が悪くなり、介護や看病をする人が同室しなければいけない場合に、ご本人の寝室または隣室に泊まれる広さがありますか。

1. はい 2. いいえ

- g. 寝室（老人室）において外の騒音はどの程度ですか

1. 一日中かなりうるさく眠りにくいことがある
2. 時間帯によってうるさいことがある
3. 静かで問題ない
4. その他（ ）

- h. 寝室（老人室）の冬の日の当たりはどの程度ですか。

1. 1 日中よく日があたる 3. 日当たりが悪い
2. 半日くらい日が当たっている 4. その他（ ）

- i. 寝室（老人室）は夏の間風がよく通りますか。

1. 風通しは非常によい
2. 時によっては風通しが悪く、クーラーが必要だと思うときがある
3. 風通しは悪く、常にクーラーが必要だと思う

- ⑧ 昼間ご本人が一番長くいる部屋はどこですか

1. ほとんど居間あるいは食堂にいる
2. 寝室（老人室）と居間あるいは食堂を行ったり来たりする
3. ほとんど寝室（老人室）にいる
4. その他（ ）

- ⑨ 緊急の際に子供の家、病院その他等に連絡できるような工夫はしていますか。

1. している → 具体的にどういったものですか
2. していない

- 問9. 当センタースーパビリティ病棟に入院前から今までに住宅の新築、改造、などをなさいましたか。当てはまるものにいくつでも、○印をおつけ下さい。

1. 住宅を新築した
2. 増築あるいは住宅の一部を壊して建て直す等の大改造をした
3. 手すりの設置、段差の解消、便所を取り替える等の小改造をした
4. 部屋の住み替え、模様替え、等をした
5. 特に何もなかった→その理由は以下のどれですか

- a. 改造などをしたくてもできなかった
b. 改造する必要性は感じたがしきょうとは思わなかった
c. 特に不便を感じておらず改造する必要がなかった
d. その他（ ）

- 問10. ご本人の心身状況からみて、現在お住まいの住宅に何らかの支障があるかどうか、それに対し改造なさったかどうかおたずねします。現在入院中その他の理由で在宅しておられない方は、住宅におられた最後の時期についてお答え下さい。それぞれの場所について当てはまる方に○印をおつけ下さい。

	支障の有無		改造の有無	
	支障がある	支障がない	改造をした	改造をしなかった
1. 外部の道路からあなたの家の玄関までの場所				
2. 玄関から家に入る入り口付近				
3. 住宅内の廊下				
4. 住宅内の階段				
5. 便所				
6. 浴室				
7. 寝室				
8. 居間				

問11. 問9で「1) 新築した、2) 大改造をした、3) 小改造をした」と答え
た方にうかがいます。心身機能の低下を補う上で何らかの配慮をした内容を枠内
にやや具体的に書き、その時期についてヨ～コのいずれかに○印をおつけ下さい。

配慮の内容（具体的に）		時期	
		入居前 （入居直後）	入居後 （経過観察中）
ア) 外部の道路から家の玄関まで			
イ) 玄関から家に上がる入口付近			
ウ) 住宅内の廊下			
エ) 住宅内の階段			
オ) 便所			
カ) 浴室			
キ) 寝室(老人室)			
ク) 居間			
ケ) その他			

この頁は問9で「1) 新築した、2) 大改造をした、3) 小改造をした」と答え
た方にうかがいます。

問12. 改造なさった際には国や自治体その他から補助を受けましたか。

1. 受けた	→ 具体的にどこからの何という補助ですか
2. 受けない	

問13. 新築あるいは改造したときに以下のどちらを主にお考えになりましたか。
どちらか一つに○印をおつけ下さい。

1. 本人ができるだけ自分で日常生活を送れるようにした	
2. 介助しやすいようにした	
3. その他	

問14. 改造をするにあたって、どなたにご相談なさいましたか。いくつでも○
印をおつけ下さい。

1. 病院のリハビリ関係者	6. 福祉事務所
2. 病院の医者、看護婦	7. 市区町村の役所
3. 家族	8. その他
4. 建築設計者	具体的に
5. 建築施工者	

問15. もしよろしければ改造に要した費用とその年度を大ざっぱにお答え下
さい。

約 () 円	() 年
---------	-------

問16. 問9で「1)新築した、2)大改造をした、3)小改造をした」と答えた方におうかがいます。改造が実際に役にたっているかどうか、介助者側、本人双方について当てはまるものに○印をおつけ下さい。

	介助者側	本人
1. 改善当時も現在も役にたっている		
2. 改善当時は役にたっていたが現在は役にたたない		
3. 役にたっていない		

・役にたたない理由、こうすればよかったというような意見、改造時に苦労した点、施策への要望などご自由にお書き下さい

問17. 問9で「5)改造などを特に何もしなかった」と答えた方におうかがいします。その理由について、以下のすべての項目の「はい」または「いいえ」のあてはまる方に○印をおつけください。

1) 現状を疲えにくくした	(はい	いいえ)
2) 本人が嫌がった	(はい	いいえ)
3) どのように改造したら良いかわからなかった	(はい	いいえ)
4) 改造の費用が高かった	(はい	いいえ)
5) 借家のため改造してはいけなかった	(はい	いいえ)
6) 改造しても元に戻す必要があった	(はい	いいえ)
7) 構造、面積など物理的に不可能だった	(はい	いいえ)
8) 時間がかかりすぎた	(はい	いいえ)

・上記以外の改造しなかった理由、施策への要望などご自由にお書き下さい

長い間ご協力ありがとうございました。

「江戸川区すこやか住まい助成制度利用者調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、前回に引き続き、再度調査をお願いすることとなりたいへん恐縮に存じております。今回は、改善に至る過程、改善前後の住宅状況の変化をより詳しくお聞きする事で、よりよい専門家の関与のあり方と、住宅改善のあり方を明らかにする事を目的としております。あわせて皆様今後の要望等もおうかがいしたいと考えています。お忙しいところ誠に恐縮ですが、今後の住宅施策のあり様を考える上で是非とも皆様のご意見をうかがいたく、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、当研究所は高齢者に関する唯一の公的研究機関であり、老後の生活環境について継続的に研究を行っております。調査結果は今後の高齢者住宅行政に役立てて行きたいと考えております。

また、調査は研究以外の目的に使用されることはなく、内容は統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。かきお、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

はなはだ勝手ではございますが、12月10日〔木〕までにご返送くださるようお願い申し上げます。

なお、ご記入が困難な場合、もしよろしければご訪問し、直接おたずね致します。お手数ですが、下記の連絡先まで御一程下さいようお願い申し上げます。

平成4年11月20日

東京都老人総合研究所 生活環境部門 室長 林 玉子

【記入上のお願い】

- ・調査用紙への回答は、封筒の宛名の方（調査の中ではご本人とお呼びします）を主に介護なさった方がご記入下さい。
 - ・各設問のあてはまる項目の番号あるいは枠内に○印をおつけ下さい。
 - ・その他（ ）に当てはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的にご記入下さい。
 - ・本調査に關してのお問い合わせは下記の担当者をお願いいたします。
- 東京都老人総合研究所 生活環境部門 資料（みのり）、菅野（かのう）
TEL (03) 3964-3241 (内3133)

1. 住宅の状況についてうかがいます。以下の項目について当てはまるものに○印をつけ、（ ）内に数字をお書き下さい。

(1) 住宅形態

1. 一戸建て→（ ） 階建て
2. 長屋建て→（ ） 階建て
3. フラット・アパート等集合住宅→（ ） 階建て（ ） 階に居住 → おい・のの有無（1. 有 2. 無）
4. その他（ ）

(2) 他用途との併設状況

1. 住宅のみ 2. 店舗併設 3. 工場併設 4. その他（ ）

(3) 住宅構造

1. 木造 2. 鉄骨・コンクリート鉄骨鉄筋コンクリート造 3. その他（ ）

(4) 築年数（ ）年

(5) 住宅の延べ床面積 約（ ）坪または（ ）㎡

2. 高齢期になってからあるいは高齢期に備えての、増改築など住宅改善の時期と内容についてうかがいます。

(1) 最初に行った改善の時期はいつですか。（一つに○印）

1. 身体障害の要因となる病気等で入院している最中 3. 自宅で生活している最中
2. 身体障害の要因となる病気等での退院直後 4. その他（ ）

(2) 区の「すこやか住まい助成制度」を利用して改善した場所はどこですか。（すべてに○印）

1. 77・ローナ 2. 玄関 3. 便所 4. 浴室 5. 洗面所 6. 廊下 7. 階段
8. 寝室 9. 台所 10. 居間 11. その他（ ）

(3) 区の制度を利用した以外に、ご自分で住宅改善をなさいましたか。

1. した 2. しない

もし改善なさった場合には、これまでにご自分で改善した場所すべてに○印をつけ、その内容をできるだけ具体的にお書き下さい。

1. 77・ローナ（内容）（ ） 7. 階段（ ）
2. 玄関（ ） 8. 寝室（ ）
3. 便所（ ） 9. 台所（ ）
4. 浴室（ ） 10. 居間（ ）
5. 洗面所（ ） 11. その他（ ）
6. 廊下（ ）（ ）

3. 区の制度による住宅改善を行うまでの経緯についてうかがいます。

(1) 区の制度を利用なさったきっかけは何ですか。(すべてに○印)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 「広報えどがわ」を見た | 7. ヘルパーに紹介された |
| 2. テレビで見た | 8. かかりつけの病院で紹介された |
| 3. 新聞で読んだ | 9. 入院中の病院で紹介された |
| 4. 区の事前調査を受けた | 10. 知人・親戚に紹介された |
| 5. 役所のさわやか相談室で紹介された | 11. 工務店で紹介された |
| 6. 保健所で紹介された | 12. その他() |

(2) 区の制度を利用した改善を行う際に、どのような職種の方が関係ないましたか。紹介、相談、設計施工など様々な形で、関係した職種の番号すべてに○印をつけて下さい。中でも、改善の具体的な内容を主に考えた人には○印をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|----------------|------------------|
| 保健所関係者 : 1. 保健婦 | 2. 理学療法士・作業療法士 | 3. ナース・ソーシャルワーカー |
| 病院関係者 : 4. 医者 | 5. 看護婦 | 6. 理学療法士・作業療法士 |
| 施工等関係者 : 8. 大工 | 9. 建築士 | 10. 福祉機器販売業者 |
| 区職員他 : 11. 区職員 | 12. AM* | 13. その他() |

(3) ご本人、ご家族は改造の内容・方法についてご自分の意見を伝えましたか。(一つに○印)

- | |
|----------------------|
| 1. 意見を伝えたいその内容() |
| 2. 多少考えていたが特に意見はなかった |
| 3. 特に意見はなかった |
| 4. その他() |

(4) 手すりの高さなど改善内容を詳細に決める際に、ご本人の身体状況の確認はしましたか。(一つに○印)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 直接試して見た | 3. 業者が考えた |
| 2. 家族の者がかわりに説明した | 4. その他() |

4. 住宅改善に対するご意見、ご感想をうかがいます。ご本人あるいはご家族は以下の事項についてどのように思っているか、それぞれの項目についてあてはまるもの一つに○印をおつけ下さい。

1) 住み慣れた住宅に傷がつき残念	1. はい	2. いいえ	3. その他()
2) 美観が損なわれて残念	1. はい	2. いいえ	3. その他()
3) 新しい設備機器は使いこなすのが難しい	1. はい	2. いいえ	3. その他()
4) 他の家族にとっては邪魔なことがある	1. はい	2. いいえ	3. その他()
5) 工事に時間がかかる	1. はい	2. いいえ	3. その他()
6) 打ち合わせがやっかい	1. はい	2. いいえ	3. その他()
7) 工事の際にうるさい	1. はい	2. いいえ	3. その他()

5. 改善した部位・設置した設備などの使い勝手、今後の希望についてうかがいます。

(1) 改善の結果、当初予想していた通りでできましたか。

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. できた | () |
| 2. できなかった一巡った点() | |
| 3. 予測がつかなかった | |

(2) 改善した部位・設置した設備などの中で、使い勝手のよくないものはありますか。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 使い勝手の悪いものがある | 2. ない |
|-----------------|-------|

→ その場所と内容、使い勝手が悪くなった時期、どのように使いつづらうか、現在の使用状況をお書き下さい。

場所および具体的内容	時期	原因	使用状況
例) 浴室、浴槽奥のてすり	改善当初から	手が届かない	使わない

(3) その他にも現在使用しなくなったものがありましたらその場所、内容、原因などお書き下さい。

場所および具体的内容	時期	原因

(4) 既に改善なかった場所も含めて、さらに改善したいところがありましたらその場所にくつても○印をつけ、内容を具体的に書き下さい。

1. 7. 階段 ()	7. 階段 ()
2. 玄関 ()	8. 寝室 ()
3. 便所 ()	9. 台所 ()
4. 浴室 ()	10. 居間 ()
5. 洗面所 ()	11. その他 ()
6. 廊下 ()	

8. 改善前と改善後の住宅状況についてうかがいます（改善を複数回実施した方は最初と最後の改善の前後）。それぞれの項目について当てはまるものいづれか一つに○印をつけて下さい。車いす利用に関する項目は、現在利用していない方も利用した場合を想像してお答え下さい。

(1) 居室配置と設備の有無について

	1. 以前からあった	2. 改善後にできた	3. 現在もない
例) 浴室はありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
A 浴室はありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
B 寝室と浴室は同じ階にありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
C 浴槽の縁の洗い場（床面またはそのこ面）からの高さはいすの高さと同じくらいですか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
D 寝室から浴室に行く際必要な箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
E 浴室内の必要な箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
F 寝室と便所は同じ階にありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
G 洋式便器（いす式）はありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
H 温風温水洗浄便座（ウォシュレット）はありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
I 寝室から便所に行く際必要な箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
J 便所内の必要な箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
K 屋外への出入口まわりの必要箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
L 道路から住宅入口までの必要箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
M 高齢者（及び介護者）が専用に行ける寝室はありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
N 屋外への出入口と寝室とは同じ階にありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない
O 屋外への出入口から寝室に行く際必要な箇所に手すりはありますか	1. 前から	2. 改善後	3. ない

(2) 広さ、移動経路について

	1. 以前からできた	2. 改善後にできた	3. できない
P 浴室にご本人と介助者が一緒に入れますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
Q 浴室に車いすと介助者が一緒に入れますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
R 寝室から浴室の途中で車いすで行けますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
S 便所にご本人と介助者が一緒に入れますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
T 便所に車いすと介助者が一緒に入れますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能

	1. 以前からできた	2. 改善後にできた	3. できない
U 寝室から便所の中で車いすで行けますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
V 道路から住宅入口内までは階段や大きな段差等の支障なく行けますか（25°、段差昇降機等を利用しても良い）	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
W 道路から住宅入り口内までは車いすで行けますか（スロープ、段差昇降機等を利用しても良い）	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
X 屋外への出入口から寝室内で車いすで行けますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能
Y 寝室内にベッドが置けますか	1. 前から	2. 改善後	3. 不可能

(3) 寝室の環境について

	1. 以前から良い	2. 改善後に良い	3. 悪い
I 寝室内の騒音は問題ありませんか	1. 前から	2. 改善後	3. 悪い
II 寝室内は日照は良好ですか	1. 前から	2. 改善後	3. 悪い
III 寝室内は通風は良好ですか	1. 前から	2. 改善後	3. 悪い

(4) 寝室の環境その他、何か問題を感じている点がありましたらお書き下さい。

7. 区すこやか住まい助成制度がなかった場合についてうかがいます。

(1) ご自分で住宅改善を実施すると思いますか。（一つに○印）

1. 実施する	2. 実施しない	3. その他（ ）
---------	----------	-----------

→その内容はどのようなものですか。

(2) ご自分で住宅改善をなさるとしたらどのような点で困ると思いますか。（一つに○印）

1. 自己負担では経費がかかりすぎる	3. どこに工事を依頼してよいかわからない
2. 改善の方法がわからない	4. その他（ ）

(3) もし改善しなかった場合にも在宅生活は続けられると思いますか。（一つに○印）

1. 続けられない	2. 続けられる	3. その他（ ）
-----------	----------	-----------

→その場合どこで暮らすことになると思いますか。（一つに○印）

1. 公的老人ホーム	2. 有料老人ホーム	3. 老人病院	4. その他（ ）
------------	------------	---------	-----------

8. 今後さらに身体状況が変化し介護がたいへんになった場合、どこで暮らすのがよいと思いますか。
(一つに○印)

1. 自宅 2. 公的老人ホーム 3. 有料老人ホーム 4. 老人病院 5. その他 ()

→ その場合、さらに住宅改善が必要だと思いますか。(一つに○印)

1. 必要である 2. 必要ない 3. その他 ()

9. 各種のサービスの利用状況についてうかがいます。

(1) 現在利用している、住宅改善後に利用したことがあるものはどれですか。(すべてに○印)

人材の派遣 : 1. AMの派遣 2. 保健師の派遣 3. 理学療法士・作業療法士の派遣
 物的支給 : 4. 敷助手段 5. 緊急通報システムの設置 6. 自立バットの貸与
 通所・宅配サービス : 7. シャワーサービス 8. デイサービス 9. 入浴サービス 10. 給食サービス
 介護者支援 : 11. 介護者教室 12. 介護教材貸出 13. 相談事業 14. 敷助行事 ()
 15. その他 ()

(2) 今後在宅生活を続ける上でぜひ必要で利用したいと思うものはどれですか。(すべてに○印)

人材の派遣 : 1. AMの派遣 2. 保健師の派遣 3. 理学療法士・作業療法士の派遣
 物的支給 : 4. 敷助手段 5. 緊急通報システムの設置 6. 自立バットの貸与
 通所・宅配サービス : 7. シャワーサービス 8. デイサービス 9. 入浴サービス 10. 給食サービス
 介護者支援 : 11. 介護者教室 12. 介護教材貸出 13. 相談事業 14. 敷助行事 ()
 15. その他 ()

10. 本人の日常生活動作についてうかがいます。

(1) 現在の日常生活動作についてそれぞれ当てはまるものに○印をつけて下さい。

A 歩行 1. 疲たきり 2. 速い 3. 杖・歩行器使用 4. 介助で歩行 5. 独歩可能
 B 排泄 1. おむつ 2. ガ・おトイレ 3. 介助でトイレ 4. 自力でトイレ
 C 入浴 1. できない 2. 介助で入浴 3. 自力で入浴
 D 手の動作 1. 握れない 2. 強く動かせる 3. 支障ない
 E 意思の疎通 1. 支障無し 2. 概ね可能 3. ほとんど不可能 4. 全く不可能 理解力無し

(2) 改善後、利用頻度が増えた場所はどこですか。(すべてに○印)

1. 玄関 2. 便所 3. 浴室 4. 洗面所 5. 廊下 6. 階段 7. 台所 8. 居間 9. その他 ()

(3) 改善の前後において、ご本人及び介護者の意識、生活態度に何か変化は見られましたか。

ご本人 1. 変化ない 2. 明るくなった 3. 物事に積極的になった 4. その他 ()
 介護者 1. 変化ない 2. 明るくなった 3. 物事に積極的になった
 4. 介護の自信がついた 5. その他 ()

- (4) 改善前後の日常生活の動作の変化についてうかがいます(改善を複数回実施した方は最初と最後の改善の前後)。それぞれの項目について当てはまるもの一つに○印をつけて下さい。

		1 元々自立、さらに動作が楽になる	2 前には要介助、介助が楽になる	3 介助が前より楽になる	4 特に変わらない	5 介助が大変になる
浴室	A 寝室から浴室までで行く	1	2	3	4	5
	B 洗い場で体を洗う	1	2	3	4	5
	C 浴槽への出入り	1	2	3	4	5
便所	A 寝室から便所までで行く	1	2	3	4	5
	B 便座へ座る、立ち上がる	1	2	3	4	5
	C 後始末、水を流す、手を洗う	1	2	3	4	5
玄関	A 道路から住宅内まで行く	1	2	3	4	5
	B 屋外への出入口から寝室まで行く	1	2	3	4	5

- (5) 改善し住宅が変化したために、ご本人がとまどったり混乱する(場所を間違える、入りたがなくなる等)ことはありましたか。(一つに○印)

1. 改善直後は時々あった→その具体的内容、対応策 ()
 2. 現在も時々ある →その具体的内容、対応策 ()
 3. ない ()

11. 最後に現在介護をなさっている方の続柄と年齢、同居別居の状況、をお書き下さい。その中で主介護をなさっている方には○印をおつけ下さい。

続柄	年齢	1. 同居 2. 別居→(居住地)	主な介護者に○印

12. その他、住宅改善をなさって良かった点、悪かった点、江戸川区の助成制度について、工務店の対応について、などご感想・ご意見をご自由にお書き下さい。

ご協力誠にありがとうございました。

「福祉機器ショップによる住宅改連に関するアンケート調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私共の研究室では医療、住宅、福祉関連各社等と協力しつつ、高齢者・障害者に配慮した住宅に関する研究を20年前より一貫して進めております。現在わが国では高齢化が急速に進行しておりますが、この中で最近の福祉機器の開発・普及にはめざましいものがあり、これらの利用が快適な在宅生活を送る上で不可欠となっております。また、福祉機器の普及と共に福祉機器ショップ・メーカーの皆様が住宅改善に積極的に対応なさるケースが見受けられるようになりました。

そこで私共では、住宅改善に対し何らかの取り組みをなさっている福祉機器ショップ・メーカーの皆様に、その取り組み方、福祉機器と住宅との取り扱いに関する問題点などをうかがい、よりよい住宅改善の普及に向けて役立てていきたいと考えております。

まことに恐縮ではございますが、調査の精度を高めるためにもより多くの方にご回答をいただきたく、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご回答ただただ方には結果がまとまり次第、ご報告申し上げます。

なお、調査は研究以外の目的に使用されることはなく、内容は統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。かきねて、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ないへん勝手ではございますが、5月25日(月)頃までにご返送くださるようお願い申し上げます。

平成4年5月14日

東京都老人総合研究所 生活環境部門 室長 林 五子

【記入上のお願い】

- ・各設問のあてはまる項目の番号に○印、あるいは控内に数値をお書き下さい。その他()に当てはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的に記入下さい。
- ・調査の精度を高めるためにより多くの方にご回答を願っております。お答えが難しい場合は、わかる範囲内で結構ですので、ご記入の上、何卒ご返送下さるようお願い申し上げます。
- ・本調査に関してのお問い合わせは下記の担当者にお願いたします。
東京都老人総合研究所 生活環境部門 費輪(みのわ) 野野(かのう)
TEL (03) 39604-3241 (内3133)

1. 今までになされた住宅改連の件数とその対応の仕方についてうかがいます。

問1. 住宅改連の内容は規模別に以下の①～⑥のように分けられます。

(1) ①～⑥のそれぞれの規模の改連について、どのような対応をなさいますか。それぞれ1～6の中から主な対応の仕方一つに○印をおつけ下さい。

(2) いずれかで「対応方法1あるいは2」に○印をつけた方にうかがいます。

1) 「対応方法1あるいは2」で住宅改連に取り組み始めたのはいつですか。

昭和 平 年

2) 「対応方法1あるいは2」では、当初から今までにそれぞれの規模の改連を約何件なさいましたか。昨年度1年間では約何件なさいましたか。控内に件数をお書き下さい。

改連の規模	(1) 対応の方法						(2) 合計	
	1 付社 け内 の 施 工 が 出 る 向 いて 取 り	2 社 建 等 等 と 関 係 有 し て 関 連 有 限 公 司	3 社 建 等 等 と 関 係 有 し て 関 連 有 限 公 司	4 み や り 方 等 の ア ド バ イ ス の	5 対 応 で き な い	6 そ の 他	合 計 (件)	昨 年 度 一 年 間 合 計 (件)
(例)建物への簡単な取り付けですむ(手すりの設置等)小規模な改連	1	2	3	④	5	6		
①建物への簡単な取り付けですむ(手すりの設置等)小規模な改連	1	2	3	4	5	6		
②建築設備、建築材料に関わる(段差解消機、浴槽替え等)中規模な改連	1	2	3	4	5	6		
③建築の躯体に関わる福祉機器(段差解消機、リフター、E.V等)の設置	1	2	3	4	5	6		
④住宅の一部建て直し、増築等に関する相談・施工	1	2	3	4	5	6		
⑤住宅の新築に関する相談・施工	1	2	3	4	5	6		

問2. 住宅改造の依頼は主にどこから受けますか。最も多いもの一つに○印をおつけ下さい。また、当てはまるものすべてに○印をおつけ下さい。

1. 病院から依頼がある
2. 役所・福祉事務所などから依頼がある
3. 本人およびその家族から直接依頼がある
4. その他 ()

問3. 住宅改造を実施するにあたり、医師、看護婦、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、等医療関係者及び、ケースワーカー(CW)、ソーシャルワーカー(SW)等社会福祉関係者に相談する等、連携をとることがあります。当てはまるもの一つに○印をおつけ下さい。

(1) 病院の医師・看護婦・PT・OT・CW 等との退院関連の患者の検討会議に参加する。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(2) 病院のPT・OT等医療関係者と共に本人の家を訪問する。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(3) CW等社会福祉関係者と共に本人の家を訪問する。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(4) 本人あるいは家族から医療関係者・社会福祉関係者が何と言っていたか話を聞く。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(5) その他何か医療・社会福祉関係者と共になっていることがありましたらお書き下さい。

問4. 住宅改造に関する情報はどのような所で入手しますか。当てはまるもの一つに○印をおつけ下さい。

(1) 福祉機器メーカー、各種企業などによる福祉機器展を見に行く。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(2) 高齢者・障害者の各種センターなどへ、住宅改造の展示を見に行く。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(3) 高齢者・障害者向けに配慮がなされたモデル住宅を見に行く。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(4) 高齢者・障害者向け住宅について詳しい建築士、学識経験者などの話を聞く。

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(5) 高齢者・障害者向け住宅に関する本・雑誌等を見る

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(6) 高齢者・障害者向け住宅改造に関するマニュアル等を見る

1. よくある
2. たまにある
3. ない
4. その他 ()

(7) その他何か情報の収集に関して特別になされている事がありましたらお書き下さい。

問5. 改造後も定期的にこちらから、その後の生活状況、使用上の問題点などをチェックすることはありますか。当てはまるもの一つに○印をおつけ下さい。

1. 必ず行う
2. たまに行う
3. 特に行わない
4. その他 ()

問6. 高齢者・障害者のための住宅改造に関する各種の本、マニュアルなどを参考にされている場合、参考になったものの名前をお書き下さい。また、これらのマニュアル、本等に関する問題点、こういったものがほしい等の要望、御意見がございましたらご自由にお書き下さい。

タイトル／著者／出版社

意見・要望

問7. 住宅改造に要した経費、各種の支援制度等についてうかがいます。

問7. 問1(1)で「対応方法1あるいは2」に○印をつけた方にうかがいます。

今までに関わった事例で、(1)改造に要した全体金額(相談料・手数料を含む)、
(2)相談料・手数料の金額、それぞれの昨年度の平均額、最高額、最低額を大ざっぱで結構ですので枠内にお書き下さい。

	(1)全経費		(2)そのうちの相談料	
	平均額	約 万円	約 万円	
最高額	約 万円		約 万円	
最低額	約 万円		約 万円	

(3)相談料について、全体の何割、等何らかの規定がありましたらお教え下さい。

問8. 日常生活用具の給付制度、住宅改造費の低利融資や助成制度など公的施策の利用についてのアドバイスをおこなうことはありますか。それぞれあてはまるもの一つに○印をおつけ下さい。

(1)日常生活用具の給付制度について

1. 自ら選んでする	3. 行わない
2. 聞かれたらする	4. その他()

(2)住宅改造費に関する支援制度について

1. 自ら選んでする	3. 行わない
2. 聞かれたらする	4. その他()

問9. 福祉機器の利用状況についてうかがいます。

問9. 住宅内の支障を補完するための以下のような福祉機器は、昨年度一年間に約何件利用がありましたか。枠内に件数をお書き下さい。「なし」の場合は「0」、わからない場合は「-」とお書き下さい。また、その他にも良く利用されているものがありましたら()内にお書き下さい。

(1)居室用品	件数	(2)移動用品	件数
1. すべり防止用品		1. 携帯スロープ	
2. シャーワイス キャスター付		2. 手すり	
3. シャーワイス キャスター無		3. 天井走行型(7) 電動	
4. 浴槽取付手すり		4. 天井走行型(7) 手動	
5. 浴槽内縁掛け		5. 床走行型	
6. 浴槽板		6. 入浴専用リフト(バスマン等)	
7. その他		7. イス型階段昇降機	
8. ()		8. 車イス用階段昇降機	
9. ()		9. 段差昇降機 埋込み型	
10. ()		10. 段差昇降機 携帯用(可動式)	
11. ()		11. エレベーター	
(2)便所用品	件数	12. ()	
1. トイレ型手すり		13. ()	
2. ポータブルトイレ		14. ()	
3. 据置式洋風便座		15. ()	
4. 暖房便座		16. ()	
5. 温水洗浄便座・便器		17. ()	
6. ()		18. ()	
7. ()		19. ()	
8. ()			

IV. 増築増設と住居との関わりで問題となる点などについて以下の設問にお答え下さい。
問は、法定居住型リフトの利用についてお聞きします。

(1) 昨年度一期間に利用のあった方にかかれます。利用件数を以下の項目別に()内にお書き下さい。「なし」の場合は「0」、わからない場合は「-」とお書き下さい。

1) 利用のあった方を呼んだ人別件数

1. 先方から依頼があった() 件 2. その他() () 件
2. 調子ですめた() 件

2) 住宅利用別利用件数

1. 木造戸建て() 件 2. R.C戸建て() 件
2. 木造戸建て() 件 3. R.C集合住宅() () 件
3. その他() 件 4. その他() () 件

3) リフト利用空間別利用件数

1. A・B・C→車いす客室内のみ() 件 4. A・B・C→車庫→浴室() 件
2. A・B・C→車庫のみ() 件 5. その他() () 件
3. A・B・C→浴室のみ() 件 6. その他() () 件

4) 一住戸内でのローターの設置箇所数別の件数

1. 1箇所() 件 2. 2箇所() 件 3. その他() () 件

5) リフト利用空間の改築増設別の件数

1. 新築() 件
2. 増築() 件
増築 → ①浴室のみ() ②浴室、車庫() ③浴室、車庫、浴室()
の増設 ④車庫のみ() ⑤浴室、改築() ⑥その他() () 件
⑦浴室のみ() ⑧車庫、改築() () () 件
3. 浴室の増設などの改築() 件
改築 → ①浴室のみ() ②浴室、車庫() ③浴室、車庫、浴室()
の増設 ④車庫のみ() ⑤浴室、改築() ⑥その他() () 件
⑦浴室のみ() ⑧車庫、改築() () () 件
4. 改築の設置のみ() 件

(2) 取り付け及び利用に際して、問題となる点がありましたら当りてはまるものにくっつき○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1. 天井が低く不足

→ その場合の住宅の構造は以下のどれですか。いくつでも○印をおつけ下さい。

1. 水道 2. R.C造 3. その他()

2. 移動距離が長い

3. 段が邪魔

4. 断熱、断熱等が邪魔

5. 湿気でレールが錆びる

6. 美観を損ねる

7. 他の者の邪魔になる

8. わからない

(3) 天井居住型リフトに関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問11. 法定居住型リフトの利用についてお聞きします。

(1) 取り付け及び利用に際して問題となる点がありましたら当りてはまるものにくっつき○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1. 床が低く不足

→ その場合の住宅構造は以下のどれですか。いくつでも○印をおつけ下さい。

1. 水道 2. R.C造 3. その他()

2. 床材質が柔らかい

→ その場合の床材は以下のどれですか。いくつでも○印をおつけ下さい。

1. 畳 2. A・B・C 3. L・A 4. その他()

3. 移動空間(居室、廊下等)が狭い

4. 美観を損ねる

5. 他の者の邪魔になる

6. わからない

(2)床走行型リフトに関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問12. 運込み型段差昇降機の利用についてお聞きします。

(1)昨年度一年間に利用のあった方にうかがいます。昨年度一年間の利用件数を以下の項目別に()内にお書き下さい。「なし」の場合は「0」、わからない場合は「-」とお書き下さい。

1)設置した空間の改造規模別の件数

1.新築()件	4.機器の設置のみ()件
2.増築()件	5.その他() ()件
3.土台の強化などの改築()件	

2)取付場所別の件数

1.玄関内部()件	3.勝手口内部()件	5.その他() ()件
2.玄関外部()件	4.勝手口外部()件	() ()件

(2)取り付け及び利用に際して問題となる点がありましたら当てはまるものにいくつでも○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1.床下掘削工事が困難	5.わからない
2.設置できるスペースが狭い	6.その他()
3.美観を損ねる	
4.他の者の出入りの邪魔になる	

(3)運込み型段差昇降機に関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問13. 携帯用(可動式)段差昇降機についてお聞きします。

(1)昨年度一年間に利用のあった方にうかがいます。昨年度一年間の利用件数を以下の項目別に()内にお書き下さい。「なし」の場合は「0」、わからない場合は「-」とお書き下さい。

1)設置した空間の改造規模別の件数

1.新築()件	4.機器の設置のみ()件
2.増築()件	5.その他() ()件
3.利用し易くするための改築()件	() ()件

2)設置場所別の件数

1.玄関内部()件	3.勝手口内部()件	5.その他() ()件
2.玄関外部()件	4.勝手口外部()件	() ()件

(2)取り付け及び利用に際して問題となる点がありましたら当てはまるものにいくつでも○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1.玄関に置けるスペースがない	3.わからない
2.重く、移動が困難	6.その他()
3.美観を損ねる	
4.他の者の出入りの邪魔になる	

(3)携帯用(可動式)段差昇降機に関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問14. イス型階段昇降機についてお聞きします。

(1)昨年度一年間に利用のあった方にうかがいます。昨年度一年間の利用件数を階段の形態別に()内にお書き下さい。「なし」の場合は「0」、わからない場合は「-」とお書き下さい。

1.直線型 ()件	2.L字型 ()件	3.U字型 ()件	4.らせん型 ()件
---------------	---------------	---------------	----------------



(2) 取り付け及び利用に際して問題となる点がありましたら当てはまるものにいくつでも
○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1. 階段の形態が複雑 一その場合の階段の形態は以下のどれですか。いくつでも○印をおつけ下さい。	
1. 直線型 2. L字型 3. U字型 4. らせん型 5. その他 ()	
2. 階段の幅が狭い	
3. 階段床板の強度が不足	8. その他 ()
4. 階段の傾斜が急すぎる	
5. 乗降する場所が狭い	
6. 他の者の邪魔になる	
7. わからない	

(3) イス型階段昇降機に関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問15. 携帯用スロープの利用についてお聞きます。

(1) 利用に際して問題となる点がありましたら当てはまるものにいくつでも○印をおつけ下さい。また、その他にもありましたらご自由にお書き下さい。

1. 利用できるスペースが狭い	5. わからない
2. 重く、移動が困難	6. その他 ()
3. 傾斜が急すぎて利用できない	
4. しまうスペースがない	

(2) 携帯用スロープに関する問題点、取り付けを検討しながらできなかったケースについてその理由、などご自由にお書き下さい。

問16. 福祉機器を一般住宅でさらに普及させるために、行政、医療、福祉機器メーカー、など各関係者はどのような対策をとるとよいと思われますか。重要と思われる順に () 内に番号をおつけ下さい。また、その他に何かございましたらご自由にお書き下さい。

1. 役所による無料給付の対象品目の拡大	()
2. 福祉機器のレンタル制度の確立	()
3. 福祉機器の展示コーナー設立などPR活動の拡大	()
4. 病院による紹介システムの確立	()
5. 福祉機器についてのアドバイスをする専門家の育成	()
6. その他 ()	()

V. その他、住宅改善、福祉機器利用、等について今までのご経験の中で苦労した点、感想などご自由にお書き下さい。

VI. 貴店の職員数などについてうかがいます。

問17. 職員の方の人数は何人ですか。また、そのうち住宅改造に関わる人は何人ですか。
その中に以下のような専門職の方がおられる場合には、それぞれの人数もお書き下さい。

全 体	改造関与者	建築士	大工等施工 関係者	その他の専門職 () ()
人	人	人	人	

・今後も引き続き調査を実施し、さらに詳細な実態を把握したいと考えています。ヒアリングに応じていただける方は○印をおつけ下さい。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

・最後にもしよしければ店名、ご住所をお書き下さい。

住所		電話番号	
店のお名前			

・たいへんお手数ですが、問りであげた商品に関して、貴店の代表的な商品のパンフレットがございましたら同封の封筒にてお送り下さい。

長い間ご協力誠にありがとうございました。

「老後の住宅改造に関する追跡調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成2、3年に行った住宅改造の調査の際には、お忙しい中、ご自宅を拝見させていただき、また、体験に基づく貴重なご意見をうかがうことができ、誠にありがとうございました。心より謝礼申し上げます。

さて、近年の住宅福祉の推進にともない、助成制度の拡充など、高齢者のための住宅改造を取り巻く状況も徐々に変化しております。しかし、現状では制度的にも施行記録の記録にあり、将来を見越した適切な改造が普及していくためには、まだまだ研究を重ねる必要があると思われます。

そこで私共では、経年変化をふまえた住宅改造のあり方を考えることを目的として、以前調査させていただいた方々に、ふたたび住宅内の問題点や改造の実態をおうかがいすることとなりました。

今後さらに高齢者のための住宅改造の制度を充実させていく上で、ぜひとも皆様のご経験・ご意見をうかがいたく、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、調査は研究以外の目的に使用されることはなく、皆様に感謝をおかけすることは決してございません。かえって、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。はなはだ勝手ではございますが、3月31日(金)までにご返送くださるようお願い申し上げます。また記入が難しいなどの場合には、直接おうかがい致しますので、下記までご連絡いただけますと幸いです。

平成7年3月23日

(財)東京都老人総合研究所 生活環境部門 林 玉子
調査担当

【記入上のおお願い】

- ・調査用紙への回答は、封筒の宛名の方(調査の中ではご本人とお呼びします)を主に介護なさった方がご記入ください。
- ・現在ご本人が入院その他の理由で自宅におられない場合には、住まにいらした最後の状況でできるだけ思い出して、すべての設問にお答えください。
- ・その他()に当てはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的に記入ください。
- ・本調査に関してのお問い合わせは下記の担当者にお願いたします。
(財)東京都老人総合研究所 生活環境部門 森崎(みのわ)
TEL (03) 3964-3241 (内3133)

問1. 現在のお住まいについてうかがいます。

(1) 現在は、ご本人(封筒の宛名の方)はどちらにお住まいですか。あてはまるもの一つに○をつけ、矢印以降のことがらにお答えください。

1. 自宅	
2. 施設	→施設の種類 (a. 特別養護老人ホーム b. 養護老人ホーム c. 軽費老人ホーム d. 有料老人ホーム e. その他())
	→施設の場所 () 都道府県 () 市町村 ()
	→施設の名称 ()
3. 病院	→病院の種類 (a. 老人病院 b. 介護療養型病院 c. その他())
	→病院の場所 () 都道府県 () 市町村名 ()
	→病院の名称 ()
4. その他()	

(2) (1) で「1. 自宅」以外に該当する方にうかがいます。そのような状況になられた時期はいつですか。

平成 年 月

問2. お体の具合についてうかがいます。

(1) 今までになされた主な疾病、けがについて、() 内にお書きください。

疾病、けがの種類 ()	→なられた時期 平成 () 年 () 月
()	→なられた時期 平成 () 年 () 月
()	→なられた時期 平成 () 年 () 月
()	→なられた時期 平成 () 年 () 月

(2) 障害の内容についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

1 四肢マヒ	3 左半身マヒ	5 その他()
2 右半身マヒ	4 下肢マヒ	

問3. 日常生活の動作についてうかがいます。

(1) 歩行の歩行動作について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 一人で(ゆっくりでも)歩ける |
| 2 杖や手すりがあれば一人で(ゆっくりでも)歩ける |
| 3 介助されれば歩ける |
| 4 いざって歩く、はって歩く |
| 5 歩動はできない |

(2) 普段の排遣動作について、あてはまるもの二つに○をつけてください。

1 便所内で自力で出来る	
2 便所内で自力で介助が必要	
3 自宅内で自力で排泄器式の「リフト」機器を使用	
4 自宅で介助してもらい排泄器式の「リフト」機器を使用	
5 転床上で差し込み装置やしびんを使用	
6 おしめを使用	
7 その他()	

(3) 普段の入浴動作について、あてはまるもの二つに○をつけてください。

1 浴室内で自力でき、浴槽へも入る	
2 浴室内ででき、浴槽へも入るが介助が必要	
3 浴室内でシャワーのみ利用	
4 入浴サービスを使用 → 在宅：頻度() 週() 週()	
→ 通所：頻度() 週() 週()	
5 その他()	

(4) 使用する器具について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 杖 → 場所：a.屋外 b.住宅内 3 その他()	
→ 自立度：a.自力 b.要介助	
2 車いす → 場所：a.屋外 b.住宅内	
→ 自立度：a.自力 b.要介助	

(5) 普段の生活について、あてはまるもの二つに○をつけてください。

1 どこへでも自由に外出できる	
2 近所なら一人で外出できる	
3 家の中なら少しは動ける	
4 起きてはいるがあまり動けない	
5 寝たきりである	
6 ほどんど寝たきりである	

問4. ご家族の構成について、あてはまるもの二つに○をつけてください。

1 息子の家族と同居	
2 息子の家族と同居	
3 娘の家族と同居	
4 娘の家族と同居	
5 姉妹の姉や息子と同居	
6 姉妹の姉や息子と同居	
7 夫または妻と二人暮らし	
8 一人暮らし	
9 その他()	

問5. 平成24年以降（私共がつかがった異時点間）、区の助成制度を利用して、あるいは独自で、新たに、住宅改修、福祉機器の利用、療養の位置の変更、などをなされましたか。なお、時期がわからない場合も「1」した」に○をつけてください。

1 した	2 しない
→ 住宅改修、福祉機器の利用、住まい方の変更、などをした場所と内容、もしわかれば、その時期を具体的に書き添ってください。	

場所	具体的な内容	時期(年・月)
浴室		
便所		
洗面所		
玄関		
777 8-4		
階段		
廊下		
居室		
庭園		
その他()		

問 6. ご本人あるいは介護者にとって、住宅内に何か支障がありますか。

1 ある	2 ない
------	------

→ 支障がある場合は、場所および具体的内容、支障が生じた時期をお書き下さい。

場所	具体的内容	時期（年、月）
浴室		
便所		
洗面所		
玄関		
77° ₀₋₄		
階段		
廊下		
寝室		
居間		
その他 ()		

問 7. 高齢者のための住宅のあり方、住宅改造のあり方、支援制度のあり方、などについて、そのほかどのようなことがらでも結構です。ご意見ご感想、役所等への要望などがございましたらご自由にお書き下さい。

長い間ご協力どうもありがとうございました。

問3 問1および問2の両方を、「3.行っていない」と答えた方にうかがいます。リフォームヘルパー事業、あるいはそれに類似する相談事業を行っていないのか、あるいはやるものによって区別をつけてください。また、そのほかにも何かございしますら、()内にご自由にお書きください。

1.相談の希望者が少ない
2.補助金額が少なく、予算がとれない
3.実施主体となるべき自治体・民間の人手が足りない
4.高齢者の住宅改修に詳しい技術者の専門家(建築士、施工業者など)がない
5.高齢者の住宅改修に詳しい技術者の専門家(建築士、施工業者など)が少ない
6.専門家が関心かどうか、運営が難しい
7.専門家への報酬が低額のため、引き受けられない
8.わからない
9.その他()

問4 どのような内容の改修の機会に、住宅改修(リフォーム)ヘルパーのような専門家の関与が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1.手すりの設置、三角材などによる段差の解消などの小改修
2.廊下・玄関・浴室・給湯室、トイレ・洗面所などの改修、設備・照明の交換
3.雨・風などの防水化、床のから上げ・張り替え、などの下足材の取替などもなような改修
4.段差解消機、リフトなど住宅の工事ともなう大型の固定型福祉機器の設置
5.浴室やトイレを新たに作る、増築、一部を壊して建て直すなどの大改修
6.内容がわからない
7.その他()

(高齢者のための住宅改修の補助制度についてうかがいます。)

問5 あなたの自治体、あるいは社会福祉協議会などでは、高齢者のための住宅改修に対して、補助を行っているですか。あてはまるものすべてに○をつけて、所定事項にもお書きください。

1.自治体が補助を行っている
→開始年度()年()月
2.社会福祉協議会等、他機関で独自に実施する補助がある
3.実施はないが、創設予定である
→事業主体はどですか。
A.自治体 B.社会福祉協議会 C.その他()
→開始年度()年()月
4.特にな
5.その他()

問6 助成制度の仕組みについてうかがいます。助成制度がない、あるいは詳細がわからない場合は、問7からお答えください。

(1) 助成金額の上限はいくらですか。 最高で()円
(2) 対象者および改修内容の制限について、それぞれ項目について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1)身体状況	1.寝たきりや身体障害者手帳1級の人 2.介護を必要とする人 3.その他()
2)家族状況	1.自身または家族のみの世帯 2.配偶者 3.その他()
3)住宅の所有状況	1.持ち家のみ 2.借家でもよい 3.その他()
4)改修規模	1.増築は不可 2.浴室に限り、増築も可能 3.増築も可能 4.その他()

(3) 助成制度を利用する機会に、住宅改修に詳しい専門家(建築士、理学療法士、作業療法士など)が相談にのることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1.必ず専門家が相談にのる
2.希望者のみ、専門家が相談にのる
3.特に専門家のアドバイスはない
4.その他()

(4) 昨年度の1年間の、助成件数、および、助成金額の平均額と最高額をお書きください。

・助成件数()件
・助成額 平均()円 最高()円

問7 助成を行う場合、対象者の所得制限と自己負担のあり方について、あなたが自身はどのように思っていますか。あてはまるものすべてに○をつけ、理由をお書きください。

1.所得により必ず全額助成を行い、誰もが無料で必要資金を払えるようにするべき
2.所得に応じて、0円~100円まで割合を決め、自己負担をするべき
3.全額助成はなし、誰もが多少は自己負担をするべき
4.その他()
理由:

問8 高齢者等のための住宅改善工事を請け負う、施工業者との連携についてうかがいます。
 (1) あなたの自治体では、施工業者の紹介をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけ、その方法に関してもお答えください。

1. 業者の紹介をしている
- 方法 {
- A. あらかじめ契約・協定・登録などをした施工業者がいる
 - B. 契約などはしていないが、リストを作成している
 - C. 日本住宅リフォームの増改築相談員の名簿を利用している
 - D. その他 ()
2. 直接業者の紹介はしないが、他の紹介機関を紹介している
3. 業者の紹介はしていない
4. その他 ()

(2) 施工業者との連携、紹介などについて何か問題点がありましたらあてはまるものにすべて○をつけてください。またそのほかにもございましたら、ご自由にお書きください。

- 1. 工事を請け負ってくれる業者が少ない
- 2. 技術面で信頼できる施工業者が少ない
- 3. 改善の内容、意図をなかなか理解してもらえない
- 4. 即座に工事に取りかかってもらえず、時間がかかる
- 5. 施工業者の育成をしたいがどのようにしてよいかわからない
- 6. 公的機関としては、特定の業者を紹介しづらい
- 7. わからない
- 8. その他 ()

問9 住宅改善に関連する他の制度についてうかがいます。あなたの自治体には以下の各制度や施設がありますか。それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 障害者のための住宅改善助成制度	1. ある 2. ない 3. その他()
2) 高齢者の住宅改善のための資金の融資制度	1. ある 2. ない 3. その他()
3) 障害者の住宅改善のための資金の融資制度	1. ある 2. ない 3. その他()
4) 高齢者・障害者のための住宅改善の方法が見られる、公的あるいは民間の展示施設	1. ある 2. ない 3. その他()

問10 そのほか、高齢者のための住宅改善に関して、国への要望、日頃業務の中で感じておられるご意見ご感想などがございましたら、ご自由にお書き下さい。

長い間ご協力どうもありがとうございました。

「高齢者等のための住宅改造の相談制度に関する調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

高齢社会を迎えるにあたり、高齢者等のための住宅改造は、ますます重要性を増してきています。さて、厚生省では平成四年に住宅改修（リフォーム）ヘルパーを創設しましたが、まだ各自治体の実施状況は明らかではありません。更なる上で、増設するべき制度の検討にあり、別の形式で国の相談制度を設けている自治体もあろうかという、各地域ごとにより異なる状況で進んでいくべきか、検討することになりました。今回の調査は、6月に各自治体に対して実施した予備調査を受け、相談制度の内容をさらに詳細に把握することを目的としています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、今後、質のよい住宅改修を推進する上で、是非とも貴体のご意見をちょうだいいただき、ご協力をお願い申し上げます。また、先日の予備調査にご協力いただいた自治体職員の方には、深く御礼申し上げますとともに、引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご回答いただいたアンケート票は、大変勝手ではございますが、9月30日（土）までにご返送くださるようお願い申し上げます。さらに、調査結果を合わせて、高齢者の住宅改修相談制度および相談制度の実施要綱、その他関連するパンフレットや調査報告などがございまして、ぜひともご交付いただきたく、お願い申し上げます。追加の別とあわせてその旨を明記していただければ幸いです。かさねて、ご回答いただいた方には、結果がまとまり次第、謝意をお送りいたします。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬 賀

平成7年9月11日

（財）東京老人総合研究所 生活環境部門
林 玉子

【記入上のおお願い】

- ・アンケート票でいう「住宅改修アドバイザー制度」とは、厚生省の住宅改修（リフォーム）ヘルパー制度あるいは、それに類似する形で自治体独自に実施している制度を指して用いています。ただし、都道府県の高齢福祉推進協議会（以下「協議会」と）が中心となって実施されている窓口相談は対象外です。
 - ・調査用紙への回答は、設問に際してもっとも適切なと思われる担当の職員の方がお答えください。
 - ・各設問のあてはまる項目の番号に○印をおつけ下さい。
 - ・その他（ ）にあてはまる場合はお手数ですが、できるだけ詳細に記入してください。
 - ・本資料に添えてお送りいただくのは下記の担当者へお願いいたします。
- （財）東京老人総合研究所 生活環境部門 林 玉子
TEL (03) 3904-3241 (内3133)

問1 高齢者を対象とする厚生省のリフォームヘルパー制度、もしくはそれに類似する独自の制度（以下、総称して住宅改修アドバイザー制度）を運用に開始したのはいつですか。

昭和・平成 年 月

問2 住宅改修アドバイザー制度の、昨年度1年度の実績をうかがいます。それぞれ特許に数値を入れてください。

(1) アドバイザーが相談に応じた世帯数

件

(2) アドバイザーが相談に応じたべい数

件

(3) 改良工事に要った事務の件数と工事費（補助金と自己負担分を合わせた合計金額）

・件数 円 平均金額 円

・総金額 円 最小金額 円

問3 住宅改修アドバイザー制度の予算・決算、および対象についてうかがいます。

(1) 昨年度の住宅改修アドバイザー制度の予算、決算および今年度の予算はいくらですか。（ただし、他の改修制度との合計金額しわからない場合には、個々にその旨が書かください。）

平成6年度予算	平成6年度決算	平成7年度予算
備考:		

(2) 対象についてうかがいます。（ ）内に数値を入れてください。

1. 市町村が負担 () %	4. その他 () %
2. 都道府県からの補助金 () %	() %
3. 厚生省からの補助金 () %	() %

問4 住宅改良アドバイザーの業務を担う方についてうかがいます。

(1) 住宅改良アドバイザーの業務を担っている方々の職種について、左枠のあてはまるものすべてに○をつけ、中央の枠内に入数をお書きください。また、その勤務先について、右枠の該当する番号にいくつでも○をつけ、その他の場合は()内に記入してください。

職 種	人数 (人)	所 属 { 1. 改所 2. 福祉事務所 3. 社会福祉協議会 4. 病院 5. 在宅介護支援センター 6. その他 }
1. ケアマネージャー・ケアヘルパー	1 2 3 4 5 6 ()	
2. 保健師	1 2 3 4 5 6 ()	
3. 作業療法士・理学療法士	1 2 3 4 5 6 ()	
4. 建築士・施工業者	1 2 3 4 5 6 ()	
5. ()	1 2 3 4 5 6 ()	
6. ()	1 2 3 4 5 6 ()	

(2) (1)で「4. 建築士・施工業者」に○をつけた方にうかがいます。これらの職種はどの機関を通じて依頼しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 役所の他部署に依頼	5. 日本住宅リフォームの増改築相談員名簿で探す
2. 建築士会に依頼	6. その他 ()
3. シルバー人材センターに依頼	
4. 大学の研究者に直接依頼	

(3) 住宅改良アドバイザーを探す、あるいは依頼する際に、何か問題になることはありませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 建築関係の協力者が少ない	
2. 理学療法士や作業療法士の協力者が少ない	
3. 専門家として適任かどうか、判断するのが難しい	
4. 資金が低い、引き受けてもらえない	
5. 特に問題はない	
6. その他 ()	

(4) 外部の専門家に委託している場合にうかがいます。単位時間あたりの賃金、交通費、時間外手当などはいくらですか。枠内に具体的に記入ください。

職 種	単位時間あたりの賃金・交通費・時間外手当等
1. 理学療法士・作業療法士	
2. 建築士・施工業者	
3. その他 ()	

問5 福祉・保健・医療・建築分野の住宅改良アドバイザーによるチームでの対応についてうかがいます。

(1) 各職種の関与状況について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 福祉職(ケアマネージャー、介護ヘルパー)	1. 必ず関与 2. ときどき関与 3. 関与しない
2) 保健・医療職(保健師、PT、OT)	1. 必ず関与 2. ときどき関与 3. 関与しない
3) 建築職(建築士、施工業者)	1. 必ず関与 2. ときどき関与 3. 関与しない

(2) チームで対応する際に問題となることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 日程調整に時間がかかる	5. その他 ()
2. 意見が分かれることがある	
3. 資金がかかる	
4. 専門用語が異なり意思の疎通が難しい	

(3) チームの構成について、理想的には、どれが好ましいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 必ず福祉・保健・医療・建築の三つの分野の専門職が関与する	
2. 必ず建築の専門職が関与し、必要に応じて他の職種も関与する	
3. 必ず保健・医療の専門職が関与し、必要に応じて他の職種も関与する	
4. 必要に応じてそのつと三つの職種から選定して関与する	
5. その他 ()	

問6 住宅改良の相談のすすめ方、各種種の役割についてうかがいます。

(1) 相談の流れを示すと以下の表の A~N のようになります。この各項目について、あなたの自治体ではどのくらい実施していますか。それぞれ「I. 実施状況」であてはまるもの一つに○をつけてください。また、「II. 担当する職種」についても、それぞれあてはまるものいくつかも○をつけてください。

相談の流れ	I 実施状況			II 担当職種					
	1 必ず 実施 する	2 時々 する	3 しない	1 一般 事務 職員	2 CW・ SW*	3 保健 師	4 PT・ OT**	5 建築 関係 職種	6 その他
A 役所窓口や電話での受付	—	—	—	1	2	3	4	5	6 ()
B 調査書の作成	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
C 担当者の選定と日程調整	—	—	—	1	2	3	4	5	6 ()
D 訪問による住宅調査	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
E 住宅改良の内容の検討・決定	—	—	—	1	2	3	4	5	6 ()
F 図面・スケッチの作成	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
G 意見書の作成	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
H 施工業者の紹介	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
I 工事費の見積りチェック	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
J 工事後の工事内容のチェック	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
K 改良後の生活動作の指導	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
L 改良結果の評価・記録作成	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
M 改良後の新たな改造・工事調査	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()
N 他の「I」~「M」の総合的検討	1	2	3	1	2	3	4	5	6 ()

*CW: 1-27-3- SW: 7-24-9-3- **PT: 理学療法士 OT: 作業療法士

(2) 相談に応じた住宅改良アドバイザー自身が、施工を行うことについて、あなたの自治体では認めていますか。あてはまるもの一つに○をつけ、施工に関与しても良い条件、必要な手続き、それに関するご意見などありましたらお書きください。

1. 状況によっては施工してよい	2. 施工してはいけない
・条件、手続き、費用の負担方法、意見など	

問7 住宅改良アドバイザー制度を利用できる対象者の制限と、利用者負担についてうかがいます。

(1) 制度を利用できる対象者の制限について、それぞれの項目についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

1) 年齢	1. 65歳以上	2. 60歳以上	3. 制限はない	4. その他()
2) 身体状況	1. 寝たきりや身障手帳1,2級の人	3. 制限はない	2. 介護を必要とする人	4. その他()
3) 家族状況	1. 単身または高齢者のみの世帯	3. その他()	2. 制限はない	
4) 住宅の所有	1. 持ち家のみ	2. 借家でもよい	3. その他()	
5) 所得	1. 所得制限あり	2. 所得制限なし	3. その他()	

(2) 制度を利用する際、利用者負担はありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。またその負担の方法、金額等についてもご記入ください。

1. 負担がある	金額・考え方など
2. 負担はない	

(3) あなたご自身は利用者負担は必要だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけ、その理由をお書きください。

1. 必要	理由など
2. 必要ない	

問8 他の制度との関連についてうかがいます。

(1) あなたの自治体には高齢者のための住宅改修の助成制度がありますか。ある場合は、住宅改良アドバイザー制度との関連について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ある	→	1. 助成制度利用者は必ず住宅改良アドバイザー制度を利用
2. ない		2. 助成制度利用者のうち希望者が利用
		3. その他 ()

(2) あなたの自治体では高齢者の日常生活用具給付事業の中で、歩行支援用具の給付を行っていますか。行っている場合は、住宅改良アドバイザー制度との関連について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ある	→	1. 歩行支援用具を給付される人は必ず住宅改良アドバイザー制度を利用
2. ない		2. 歩行支援用具を給付される人のうち希望者が利用
		3. その他 ()

(3) 住宅改良アドバイザー制度を他の何らかの制度と関連づけて実施している場合があります。その制度の内容、関連の仕方をお書きください。

問9 あなたの自治体では、住宅改良アドバイザーや施工者の育成のために、講習会や勉強会などを行っていますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 住宅改良アドバイザーのための研修・勉強会等	1. ある 2. ない
(2) 施工者のための研修・勉強会等	1. ある 2. ない

問10 厚生省の住宅改良（リフォーム）ヘルパー制度についての問題点やご意見、その他。住宅改修支援制度全般に関するご意見、利用者の反響などがありましたらご自由にお書きください。

長い間ご協力、誠にありがとうございました。

「高齢化社会における住宅改善に関する調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、高齢社会を目前にひかれ、高齢者や障害者を配慮した住環境の必要性がきかれておりますが、私どもの研究室では、二十年以上にわたり、高齢者や障害者の生活環境全般に関する研究を続けております。その一環として、高齢者や障害者を配慮した住宅の新築・増改築についての様々な調査研究も行っております。今後、快適で良質な住環境を整備・普及していくためには工務店、設計事務所など建築関係者の方々の役割は益々重要となるでしょう。そこで今回、住宅の増改築に関心の深い「増改築相談員」の方々を対象に、高齢者や障害者等を考慮した住宅の新築・増改築に関するご経験、ご意見・ご要望をおうかがいし、高齢化社会における住宅改善のための基礎的資料を得ることを目的に本調査を企画いたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、今後の高齢者や障害者向けの住宅改善を推進する上でも是非とも皆様のご意見をおうかがいし、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本調査で得られたデータ・資料は研究以外の目的に使用することはありません。また、調査結果は統計的に処理され、皆様にご連絡をおかけすることは決してございません。かきねて、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

はなはだ勝手ではございますが、11月5日（金）までにご返送くださるようお願い申し上げます。

なお、住宅改善の良き事例がございましたらお送り下されば幸いです。

平成5年10月5日

(財)東京都老人総合研究所 生活環境部門
研究室長 林 玉子

【記入上のおお願い】

- ・調査用紙への回答は、封筒の宛名の方が記入下さい。
 - ・各設問のあてはまる項目の番号あるいは枠内に○印をお付け下さい。
 - ・その他（ ）に当てはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的に記入下さい。
 - ・本調査に関してのお問い合わせは下記担当者にお願いたします。
- 東京都老人総合研究所 生活環境部門
調査担当者：豊輪(みわ)、狩野(かのう)
TEL (03) 3964-3241 (フ3133)

高齢化社会における住宅改善に関する調査

1. あなたは、この1年間に、高齢者や障害者等を配慮した住宅の新築の相談、設計、施工などに関わったことがありますか。

●新築に関わったことが、1. ある 2. ない

→新築に関わったことがある場合、以下の設問にお答え下さい。

- 1-1. あなたが、この1年間に、新築に関与した件数は……約 件
1-2. どのような形で関与されましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. 相談 2. 設計 3. 施工 4. その他()

- 1-3. 新築の相談、設計、施工等を行う際に、医師、福祉、建築関係の専門家に相談するなど、連携をとることがありましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. 医者 5. 役所職員 9. 建築研究者
2. 看護婦・保健婦等 6. ホームヘルパー 10. 福祉機器業者
3. 理学療法士・作業療法士 7. 建築士 11. その他()
4. 介護・介護ヘルパー 8. 大工 12. 特になし

- 1-4. あなたが、住宅の新築に関与する際、あるいは相談、設計、施工等を行う場合に、特に、問題となった点や困難であった事例はどんなことですか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. 設計、施工に手間ひまがかかる
2. コストが割高になる
3. 利益が少ない
4. 本人及び家族との意見調整が難しい
5. 本人の身体状況及び在宅における介護の状況の把握・予測が難しい
6. 設計、施工方法に関する知識・情報が乏しい
7. 福祉機器、建築設備、部品、部材等に関する知識・情報が乏しい
8. 各種の助成制度等に関する知識・情報が乏しい
9. 他の専門職種あるいは行政との連携・協力が難しい
10. 使用後の手直しが必要になることもある
11. その他()
12. 特になし

2. あなたは、この1年間に、高齢者や障害者等を配慮した住宅の増改築の相談、設計、施工などに関わったことがありますか。

●増改築に関わったことが、1. ある 2. ない

→増改築に関わったことがある場合、以下の設問にお答え下さい。

- 2-1. あなたが、この1年間に、増改築に関与した件数は……約 件
2-2. どのような形で関与されましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

1. 相談 2. 設計 3. 施工 4. その他()

次頁に続く

2-3. 住宅の増改築の経緯は近どこから受けますか。当てはまるものを「エ」に○を付けて、その外、最も近いものは○を付けて下さい。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 本人及びその家族から | 3. 役所・福祉事務所等から |
| 2. 所長から | 4. その他() |

2-4. あなたが関与したケースの工事の内容はどのようなものでしたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

- | |
|--------------------------------|
| 1. シェアーウェア、マッドなど機密用増設窓の設置 |
| 2. 手すり等の設置、三角材などによる段差の解消などの小改造 |
| 3. 扉、転口、脱所便座などの設備・部品・部材の交換 |
| 4. 床や床の張り替え、躯体に際する中改造 |
| 5. 段差解消機、リフトなどの設置増設機器の設置 |
| 6. 増築・一部を壊して建て直すなどの大改造 |
| 7. その他() |

2-5. 増改築の相談、設計、施工等を行う際に、医師、福祉・建築関係の専門家等に相談するなど、連絡をとりましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 医師 | 9. 建築研究者 |
| 2. 看護婦・保健婦等 | 10. ホームヘルパー |
| 3. 理学療法士・作業療法士 | 11. その他() |
| 4. ナース・ソーシャルワーカー | 12. 特になし |
| 5. 役所職員 | |
| 6. 建築関係者 | |
| 7. 建築士 | |
| 8. 大工 | |

2-6. あなたが、住宅の増改築に際する際、あるいは相談、設計、施工等を行う場合に、特に、問題となった点や困難であった事例はどんなことですか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 設計、施工に手回しがかかる |
| 2. コストが著面になる |
| 3. 利益が少ない |
| 4. 本人及び家族との意見調整が難しい |
| 5. 本人の身体状況及び在宅における介護の状況の把握・予測が難しい |
| 6. 設計、施工方法に関する知識・情報が乏しい |
| 7. 福祉関係、建築関係、部品、部材等に関する知識・情報が乏しい |
| 8. 各利の助成制度等に関する知識・情報が乏しい |
| 9. 他の専門機関あるいは行政との連携・協力が悪い |
| 10. 使用後の手直しが必要になることもある |
| 11. その他() |
| 12. 特になし |

2-7. 増改築後、その使用状況をチェックしたり、アドバイスするなど、継続的な対応はなっていますか。

- | |
|----------------------|
| 1. 定期的にチェックするようにしている |
| 2. 本人・家族から要望があれば対応する |
| 3. その他() |
| 4. 特に行っていない |

3. あなたは、今後、高齢者や障害者を配慮した住宅の新築あるいは増改築に積極的に関わって行きたいとどう考えますか。当てはまるもの1つに○を付けて下さい。また、()内にその理由をお書き下さい。

- | |
|---------------------------|
| 1. 計画にも、増改築にも積極的に関わって行きたい |
| 2. 計画には積極的に関わって行きたい |
| 3. 増改築には積極的に関わって行きたい |
| 4. どちらもあり積極的に関わりたい |
| 5. わからない |
| 理由: () |

4. 高齢者や障害者を配慮した住宅の新築あるいは増改築に関与する場合、どのような事例の知識、情報を得たいとお考えですか。最も取得したいものを1つ選んで○を付けて下さい。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 高齢者・障害者の生活動作について | 5. 福祉関係について |
| 2. 各利の助成制度について | 6. その他() |
| 3. 設計、施工方法について | 7. 特になし |
| 4. 部品、部材について | |

5. 公的機関、行政等へのご要望がありますか。特に、希望する事例を1つ選んで○を付けて下さい。また、その他何かございましたら、ご自由にお書き下さい。

- | |
|---|
| 1. 役所・関係者等との関係からの、住宅改善希望者の紹介制度を充実してほしい |
| 2. 住宅改善の助成制度や福祉関係のレンタル等、様々な支援制度を充実してほしい |
| 3. 必要に応じて医師・福祉・福祉関係者の各専門機関と連携を密にしたい |
| 4. 住宅改善に関する知識、情報を充実してほしい |
| 5. 関係する行政の窓口を一本化してほしい |
| 6. その他() |
| 7. 特になし |

6. 高齢者や障害者を配慮した住宅の新築及び増改築の相談、設計及び施工を行う場合、特に心がけている点、あるいは今までの経験でのご感想、問題点などがありましたらご自由にお書き下さい。

- | |
|-----|
| () |
|-----|

7. あなたの所属する組織(専任)では、住宅の増改築の際に設計業務を行っていますか。

●設計業務を、1. 行なっている 2. 行なっていない

→設計業務を行っている場合、以下の設問にお答え下さい。

7-1. 増改築の際に、設計料をいただいたことのあるケースは次のうちのどれですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 増築、一部を壊して建て直すなどの大改築
2. 段差解消機、リフトなどの固定福祉機器の設置
3. 壁や床の張り替え、躯体に関わる中改築
4. 扉、枕口、暖房設備などの設備・部品・部材の交換
5. 手すりの設置、三角材などによる段差の解消などの小改築
6. シャowerチェア、マットなど汎用福祉機器の設置
7. その他()

7-2. 設計実費(但し、交通費は除く)の、現在の目安及び希望額はどの程度ですか。同、数値として答えづらい場合などは、特例にその考え方を自由にお書き下さい。また、その他経費に関するご意見・ご感想なども自由にお書き下さい。

工事 総 額	現在の目安		希 望 額	
50万円未満の場合	総額の約	%	総額の約	%
50～100万円未満の場合	総額の約	%	総額の約	%
100～300万円未満の場合	総額の約	%	総額の約	%
300万円以上の場合	総額の約	%	総額の約	%
<経費に対する考え方、ご意見・ご感想>				

8. あなたの職種及び現在あなたが所属している組織等についてお伺いします。それぞれ当てはまるもの上つに○をつけて下さい。

職種 : 1. 大工	2. 建築士	3. インテリアコーディネーター	4. その他()
性別 : 1. 男	2. 女		
年代 : 1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代
相談員の更新回数 : 1. 0回	2. 1回	3. 2回	5. 60代以上
所属組織の種類 : 1. 工務店	2. 設計事務所	3. リフォームセンター	
所属組織の規模 : 所員の総数()人	建築士の人数()人		
所属組織のある地域(都道府県名) : ()			

9. 今後、さらに具体的なお話を聞きたく、訪問調査を予定しております。ご協力いただける方はお手数ですが、面氏名、御住所、電話番号をお書き下さい。

面 氏 名 :
御 住 所 :
電 話 番 号 :

★昼の間、ご協力どうもありがとうございました。

★住宅改築の事例(設計図、メモ等)をお送り下さいら幸いです。

「公共的な施設及び住宅のバリアフリー設計に関する意識調査」へのご協力をお願い

拝啓 近年、急速な高齢社会の進展に伴い、バリアフリー設計の重要性が問われています。建設省では平成6年度から、民間の建築も含めた全ての公共施設に対して、高齢者、身体障害者を考慮した設計を取り入れることを施設設置者に求める法律を制定する方針を打ち出しています。

私どもの研究室では、建築的立場から高齢者、身体障害者の方々の生活環境の諸問題に関して、長い間研究して参りました。福祉のまちづくりも、身体障害者を対象に展開されてきましたが、今や超高齢社会に向けて、高齢者も含めたバリアフリー設計への要求が高まりつつあります。含み住宅等でもバリアフリー設計に関する指針、要綱、条例等が作成されていますが、バリアフリー設計の普及、実現のためには全国レベルでの法の基盤化と共に施主、設計者の積極的な取り組みがなければ難しいと思われます。当研究室では、15年前においても施主、設計者の方々がこの課題にどう対応しているのかに関して今回と同様の調査を行いました。過去15年間に、バリアフリー設計に対する皆様のご意見を聞き、今後のバリアフリー環境の実現、普及に役立てたいと思っております。

誠に勝手ながら貴社を調査対象として選ばせていただきました。お忙しいところ大変恐縮でございますが、下記の「記入上のご注意」をお読みの上ご回答くださるようお願い申し上げます。

本調査で得られたデータ、資料等は本研究以外の目的に使用することはございませんし、調査結果は統計的に処理され、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。かえって、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。はなはだ勝手ではございますが、12月15日（水）までに下記までご返送下さるようお願い申し上げます。

平成5年11月20日

（財）東京都老人総合研究所 生活環境部門
部長 林 玉子

<記入上のご注意>

- ・調査用紙は4部割付してあります。
- ・身体障害者及び高齢者を考慮した設計に関して、貴社の意見を代表できる方（以下最優先者と称す）と建築設計に携わっている20代、30代、40代の方の中から各一名ずつ計4名を選んでいただきご回答くださるようお願いいたします。尚、最優先者の方白色、20代の方は黄色、30代の方は青色、40代の方は水色の調査用紙にご記入下さい。
- ・最優先者の方には、氏名、連絡先等をご記入頂きますが、これは後日調査結果の概要がまとまりましたら送付させていただきます。
- ・該当する年代の方がいなくときはその旨を覆外の備考欄にお書き添えのうえ、回答は無記入のままご返送下さい。
- ・ハンディキャップ者とは、身体障害者、高齢者、病弱者等日常生活行動上ハンディキャップのある人々をさします。
- ・本調査における身体障害者には肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者を含みます。
- ・調査用紙は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからなり、Ⅰは公共的な施設のバリアフリー設計に関して、Ⅱは住宅のバリアフリー設計に関して、Ⅲはバリアフリー全般に関しての質問になっています。
- ・本調査に関してのお問い合わせは下記の担当者にお願ひします。

東京都老人総合研究所 生活環境部門
〒174 板橋区栄町35-2
TEL (03) 3964-3241 (内3127, 3133)
調査担当者 小林、狩野（かのう）、前川

最優先者の方に回答をお願いいたします。備考: (B)

公共的な施設及び住宅のバリアフリー設計に関する調査

1. 近年、公共的な施設における建築障壁の排除は、身体障害者や高齢者の人権、自立生活の視点からも重要視されており、今後、建築設計に関わる者の役割が益々大きくなっていくものと思われます。身体障害者や高齢者を配慮した公共的な施設設計についてお聞ひいたします。

1. あなたは、1990年以降、表1（2ページ下段）にあげた主たる公共的な施設を設計したことがありますか。

●公共的な施設を設計したことが、 1. ある 2. ない

→公共的な施設を設計したことがある場合、以下の設問にお答え下さい。

1-1. あなたは、公共的な施設を設計する際、以下に示す方々が利用することを意識して設計に反映させたことがありますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

1. 車イス使用者	3. 視覚障害者	5. 高齢者
2. 杖使用者	4. 聴覚障害者	6. その他（ ）

1-2. 全体的（総合的）にみると、公共的な施設設計において、あなたが身体障害者や高齢者に対して配慮すべきだと考えていたことがどのくらい反映できたと思われますか。最も悪いものに1つだけ○をつけて下さい。

1. かなり反映できたと思う
2. どちらかといえば反映できたと思う
3. どちらかといえば反映できなかったと思う
4. ほとんどあるいは全く反映できなかったと思う

2. あなたが、身体障害者や高齢者を配慮した公共的な施設を設計する際に、特に、問題となる点や困難な事例はどのようなことですか。該当するもの3つ以内に○をつけ、その具体例や理由をご記入下さい。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 手間がかかる | 7. 施主や上司の理解が得られにくい |
| 2. 設計が難しい | 8. 他の専門職種との連携・協力が難しい |
| 3. 自由な設計がしにくい | 9. その他（ ） |
| 4. 面積が必要になる | |
| 5. コストがかかる | |
| 6. 情報不足している | 10. 特に、問題はない |

<具体例または理由>

11. 超高齢社会を目前にひかれ、在宅福祉の基盤である住宅及び住環境のあり方が益々重要視されています。高齢社会のニーズに対応できる快適で良質な住宅の整備・普及が今後の重要な課題となるでしょう。身体障害者や高齢者を配慮した住宅の設計についてお伺いいたします。

8. あなたは、1990年以降、身体障害者や高齢者を配慮した住宅の新築の設計に携わったことがありますか。

●住宅の新築の設計に携わったことが、1. ある 2. ない

→住宅の新築の設計に携わったことがある場合、以下の設問にお答え下さい。

8-1. あなたは、新築の住宅を設計する際、以下に示す方々が使うことを意識して設計に反映させたことがありますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. 車イス使用者 | 3. 視覚障害者 | 5. 高齢者 |
| 2. 杖使用者 | 4. 聴覚障害者 | 6. その他 () |

8-2. 全体的（総合的）にみると、新築の住宅の設計において、あなたが身体障害者や高齢者に対して配慮すべきだと考えていたことがどのくらい反映できたと思われますか。最も近いものに1つだけ○をつけて下さい。

- | |
|--------------------------|
| 1. かなり反映できたと思う |
| 2. どちらかといえば反映できたと思う |
| 3. どちらかといえば反映できなかったと思う |
| 4. ほとんどあるいは全く反映できなかったと思う |

9. あなたが、身体障害者や高齢者を配慮した新築の住宅を設計する際に、特に、問題となる点や困難な事柄はどのようなことですか。該当するもの3つ以内に○をつけ、その具体例や理由をご記入下さい。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 手間がかかる | 7. 施主や上司の理解が得られにくい |
| 2. 設計が難しい | 8. 他の専門職種との連携・協力が難しい |
| 3. 自由な設計がしにくい | 9. その他 () |
| 4. 面積が必要になる | |
| 5. コストがかかる | |
| 6. 情報が不足している | 10. 特に、問題はない |

<具体例または理由>

10. あなたは、1990以降、身体障害者や高齢者を配慮した住宅の増改築の設計に携わったことがありますか。

●住宅の増改築の設計に携わったことが、1. ある 2. ない

→住宅の増改築の設計に携わったことがある場合、以下の設問にお答え下さい。

10-1. あなたは、住宅の増改築の設計をする際、以下に示す方々が使うことを意識して設計に反映させたことがありますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. 車イス使用者 | 3. 視覚障害者 | 5. 高齢者 |
| 2. 杖使用者 | 4. 聴覚障害者 | 6. その他 () |

10-2. 全体的（総合的）にみると、住宅の増改築の設計において、あなたが身体障害者や高齢者に対して配慮すべきだと考えていたことがどのくらい反映できたと思われますか。最も近いものに1つだけ○をつけて下さい。

- | |
|--------------------------|
| 1. かなり反映できたと思う |
| 2. どちらかといえば反映できたと思う |
| 3. どちらかといえば反映できなかったと思う |
| 4. ほとんどあるいは全く反映できなかったと思う |

11. あなたが、身体障害者や高齢者を配慮した住宅の増改築を設計する際に、特に、問題となる点や困難な事柄はどのようなことですか。該当するもの3つ以内に○をつけ、その具体例や理由をご記入下さい。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 手間がかかる | 7. 施主や上司の理解が得られにくい |
| 2. 設計が難しい | 8. 他の専門職種との連携・協力が難しい |
| 3. 自由な設計がしにくい | 9. その他 () |
| 4. 面積が必要になる | |
| 5. コストがかかる | |
| 6. 情報が不足している | 10. 特に、問題はない |

<具体例または理由>

12. あなたは、今後、身体障害者や高齢者を配慮した住宅の増改築の設計にどのように関わって行きたいとお考えですか。該当するもの1つに○をつけて下さい。

- | |
|----------------------------|
| 1. かなり積極的に関わって行きたい |
| 2. 条件が整えば積極的に関わって行きたい |
| 3. どちらかと言えばあまり積極的に関わりたいくない |
| 4. その他 () |

13. あなたは、身体障害者や高齢者を配慮した住宅(新築、増改築を含む)を設計する際に、どのような情報・資料及び意見等を参考にしていますか。あるいは、参考にしたいと考えていますか。主に参考にするもの、時々参考にするものすべてに○をつけて下さい。また、これまで最も参考になった資料名を1つだけ挙げて下さい。

	主に参考	時々参考
・学会出版の研究資料や研究論文		
・自治体が出している条例、要綱及び指針等		
・市販の図書		
・社内で作成した身体障害者や高齢者を配慮した資料		
・社内の身体障害者や高齢者を配慮した設計経験がある人の意見		
・社外の設計経験がある人または専門家の意見		
・身体障害者や高齢者本人の意見・要望		
・その他 ()		
<資料名>		

14. 身体高齢者や高齢者を配慮した住宅の設計をする場合、どのような事柄の知識・情報を取得したいとお思いですか。最も取得したいものを1つ選んで○をつけ、具体的な内容を枠外にご記入下さい。

1. 高齢者・障害者の生活動作に関すること	()
2. 各種の助成制度に関すること	
3. 福祉機器に関すること	
4. 部品、部材に関すること	
5. 設計、施工方法に関すること	
6. その他	
7. 特になし	
<内容を具体的にご記入下さい>	

15. 身体障害者や高齢者にとって望ましい環境を実現することは基本的な問題であり、超高齢社会の到来を前にして、バリアフリー設計の重要性は益々高まっています。建築及びまちづくりにおけるバリアフリー設計に関してお問い合わせいたします。

- 15-1. あなたは、「バリアフリー設計」についてどのように感じたり、受けとめておられますか。あるいは、どのように理解されていますか。ご意見をお聞かせ下さい。

16. バリアフリー設計に対する考え方や設計を行う際の留意点についてお問い合わせいたします。

- 16-1. あなたは、公共的な施設や住宅を設計する際に、身体障害者と高齢者とは配慮する点に何らかの違いがあると思われますか。該当するもの1つに○をつけ、その具体例や理由についてご記入下さい。

1. 違いがあると思う	2. 違いはないと思う	3. よくわからない
<具体例または理由>		

- 16-2. 身体障害者を配慮した設計を行う際に、あなたが特に配慮している(すべきだと考える)点はどのようなことですか。

- 16-3. 高齢者を配慮した設計を行う際に、あなたが特に配慮している(すべきだと考える)点はどのようなことですか。

「高齢者や障害者等を配慮した住宅改造に関する調査」のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

高齢社会を迎えるにあたり、高齢者等のための住宅改造は、ますます重要性を増しており、助成などの支援制度についても、さらに検討を重ね、充実させていくことが必要だと考えられます。

さて、質の良い住宅改造を普及するためには、施工業者の方々のご協力が欠かせません。しかし、日常の業務の中で、高齢者などの改造に関与していただくためには、さまざまな課題もあるかと思われます。そこで今回、高齢者などのための住宅改造に関与している方々に、ご意見、ご要望をおうかがいし、今後どのように住宅改造をすすめていくことが必要か、検討することとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、今後、住宅改造を推進する上で、是非とも皆様のご意見をおうかがいし、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、調査は研究以外の目的に使用されることはなく、内容は統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。かきねて、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

はなはだ勝手ではございますが、5月20日（土）までにご返送くださるようお願い申し上げます。

平成7年5月9日

（財）東京都老人総合研究所 生活環境部門
大田区高齢者障害者住宅改善団体連絡協議会

【記入上のお願い】

- ・調査用紙への回答は、封筒の宛名の方がご記入下さい。
- ・各設問のあてはまる項目の番号あるいは枠内に○印をおつけ下さい。
- ・その他（ ）にあてはまる場合はお手数ですが、できるだけ具体的に記入下さい。
- ・本調査に際してお問い合わせは下記の担当者にお願いいたします。

（財）東京都老人総合研究所 生活環境部門 長崎（みの）
TEL (03) 3964-3241 (内3133)

問1 あなたはこの1年間に、高齢者や障害者などを配慮した住宅の改造の相談、設計、施工などに関わったことがありますか。

1. ある → この1年間に関与した件数は 約（ ）件
2. ない

問2 問1で「1. ある」と答えた方にうかがいます。「2. ない」の方は問3からお答えください。

1) どのような形で関与されましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談 2. 設計 3. 施工 4. その他（ ）

2) 住宅改造の依頼は主にどこから受けますか。あてはまるものすべてに○をつけ、そのうち、最も多いもの1つに◎をつけてください。

1. 本人およびその家族から 4. 病院から
2. 役所・福祉事務所から直接 5. その他（ ）
3. 役所・福祉事務所から組合の事務所を経由して

3) あなたが関与したケースの工事の内容はどのようなものでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 手すりの設置、三角材などによる段差の解消などの小改造
2. 扉、蛇口、浴槽・給湯器、暖房便座などの設備・部品・部材の交換
3. 和式便器の洋式化、床のかき上げ・張り替え、などの下地材の変更をともなうような中改造
4. 段差解消、リフトなど住宅の工事をともなう大型の固定福祉機器の設置
5. 浴室や便所を新たに作る、増築、一部を壊して建て直すなどの大改造
6. その他（ ）

4) 住宅改造の相談、設計、施工等を行う際に、医療、福祉、建築関係の専門家などから、改造の内容についてアドバイスは受けましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 必ず受けている 3. 受けていない
2. 必ずではないが受けたことがある

→どのような種類のアドバイスを受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 理学療法士・作業療法士 4. 医者 7. 大工
2. 看護婦・保健師 5. 福祉関係者 8. 福祉施設関係者
3. ケアマネ・福祉コーディネーター 6. 建築士 9. その他（ ）

5) 住宅改造の内容を考えたのは、主にどなたですか。いままでに関与したケースの中で、最も中心になっていたと思われる人、1人に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|-----------|
| 1. あなたご自身（施工者） | 4. 役所の担当職員 | 7. 建築士 |
| 2. 高齢者本人 | 5. 理学療法士・作業療法士 | 8. 福祉機器業者 |
| 3. 家族 | 6. 看護婦・保健師等 | 9. その他（ ） |

6) 手すりの場所など改造内容を詳細に決める際に、ご本人の身体状況の確認はしましたか。主なもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 直接本人に試してもらった | 3. 施工者が考えた |
| 2. 家族の者に説明してもらった | 4. その他（ ） |

問3 1) あなたが、区内で、高齢者や障害者などを配慮した住宅改造の相談、設計、施工等を行う場合に、特に、問題となる点や困難な事柄はどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 設計、施工に手間ひまがかかる | 14. その他（ ） |
| 2. コストが高額になる | （ ） |
| 3. 利益が少ない | （ ） |
| 4. 本人および家族との意見調整が難しい | （ ） |
| 5. 本人の身体状況の把握、予測が難しい | （ ） |
| 6. 在宅における介護の状況の把握、予測が難しい | |
| 7. 設計、施工方法に関する知識、情報が乏しい | |
| 8. 建築設備、部品、部材等に関する知識、情報が乏しい | |
| 9. 福祉機器に関する知識、情報が乏しい | |
| 10. 各種の助成制度等に関する知識、情報が乏しい | |
| 11. 他の専門職種あるいは行政との連携、協力が難しい | |
| 12. 使用後の手直しが必要になることもある | |
| 13. 特になし | |

2) 上の項目のうち、最も問題となる事柄1つに○をつけてください。

問4 1) あなたが、高齢者や障害者などを配慮した住宅改造に関与する場合に、特に、よいと思う事柄はどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 確実に仕事で得られる | 5. 自分の技術が生かせる |
| 2. 役所の仕事をすることで信頼度が高まる | 6. 特になし |
| 3. 地域・社会へ貢献ができる | 7. その他（ ） |
| 4. 住宅改造をきっかけとして他の仕事を請け負うことができる | |

2) 上の項目のうち、最もよいと思われる事柄1つに○をつけてください。

問5 高齢者や障害者などを配慮した住宅改造に関する今後の取り組みについてうかがいます。

1) あなたは今後、住宅改造に積極的に関わっていきたいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、右欄にその理由をお書きください。

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 積極的に関わっていきたい | 理由: |
| 2. どちらかといえば積極的に関わっていきたい | |
| 3. どちらかといえば積極的には関わりたくない | |
| 4. 積極的には関わりたくない | |
| 5. わからない | |

2) あなたは今後、どのような内容の住宅改造に関与してもよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 手すりの設置、三角材などによる段差の解消などの小改造 |
| 2. 扉、蛇口、浴槽・給湯器、暖房便座などの設備・部品・部材の交換 |
| 3. 和式便器の洋式化、床のかき上げ・張り替え、などの下地材の変更をともなうような大改造 |
| 4. 段差解消機、リフトなど住宅の工事をともなう大型の固定福祉機器の設置 |
| 5. 浴室や便所を新たに作る、増築、一部を壊して建て直すなどの大改造 |
| 6. その他（ ） |

3) 上の設問2)で、最も関与したい内容1つに○をつけてください。

4) あなたは今後、どのくらいの工事総額の、住宅改造に関与してもよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| 1. 10万円以下でもよい | 3. 50～100万円未満 | 5. その他（ ） |
| 2. 10～50万円未満 | 4. 100万円以上 | |

5) 上の設問4)で、最も関与したい金額1つに○をつけてください。

6) あなたは今後、年に何件くらい、住宅改造に関与してもよいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. 多いほどよい | 3. 月に1件程度 | 5. 年に1件程度 |
| 2. 月に2～3件程度 | 4. 年に2～3件程度 | 6. その他（ ） |

問6 工事を請け負う業者の決め方は、どのような形がよいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 登録業者の名簿から、順番制がよい |
| 2. 得意な、あるいは希望する工事内容・規模ごとに業者名簿を分類し、その中で順番制がよい |
| 3. 複数業者が見積りを出し、安い方が請け負う |
| 4. 登録業者の名簿から本人・家族等が選ぶ |
| 5. その他（ ） |

問7 高齢者や障害者などを配慮した住宅改修を行う場合に、住宅改修にわしい建築や医療の専門家がアドバイザーとして参加する制度を導入する区が増加しています。どのような内容の改修に、このような専門職種の関与が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 手すりの設置、三角材などによる段差の解消などの小改修 2. 扉、蛇口、浴槽・給湯器、暖房設備などの設備・部品・部材の交換 3. 和式便器の洋式化、床のかさ上げ・張り替え、などの下地材の変更をとまなうような中改修 4. 段差解消機、リフトなど住宅の工事をともなう大型の固定福祉機器の設置 5. 浴室や便所を新たに作る、増築、一部を壊して建て直すなどの大改修 6. 内容にかかわらず特に必要だとは思わない 7. その他（ ）
理由：

問8 高齢者や障害者などを配慮した住宅改修の費用に関する事項についてうかがいます。

1) 見積りをわかりやすくするために、基本的な改修内容について、材料・製品代および工事費をあわせた基準単価を設定することは、よいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. その他（ ）
理由：		

2) 設計・打ち合わせ費および経費等の、工事規模ごとの基準額を設定することは、よいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. その他（ ）
理由：		

3) 見積書の書式を詳細に統一し、材料費、工事費、経費などの区別がわかりやすいものを作ることは、よいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. その他（ ）
理由：		

4) 経費の、現在の目安および希望額はどの程度ですか。なお、数値として答えづらい場合などは、特例に現在の考え方をご自由にお書きください。また、そのほか経費に関するご意見ご感想などもご自由にお書きください。

工事総額	現在	希望
10万円未満の場合	総額の約 %	総額の約 %
10～50万円未満の場合	総額の約 %	総額の約 %
50～100万円未満の場合	総額の約 %	総額の約 %
100万円以上の場合	総額の約 %	総額の約 %

<経費に対する考え方、ご意見、ご感想>

問9 高齢者や障害者などを配慮した住宅の改修に関する講座、研修、勉強会についてうかがいます。

1) どのような研修等に参加したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 所属する組合が独自に主催する研修、勉強会	6. 特になし
2. 複数の組合が合同（または連絡協議会等）で主催する研修、勉強会	7. その他
3. (財)日本住宅リフォームの改修相談員養成講座	()
4. 東京都社会福祉協議会（東京いきいきらいふ推進センター）主催の研修	()
5. 区が主催する研修、勉強会	()

2) 現在ご自身では、どのような事例の知識・情報はおおむね取得していると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 高齢者・身障者の生活動作について	5. 福祉機器について
2. 各種の助成制度について	6. 特になし
3. 設計、施工方法について	7. その他（ ）
4. 部品、部材について	()

3) 今後はさらに、どのような事例の知識・情報を取得したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 高齢者・身障者の生活動作について	5. 福祉機器について
2. 各種の助成制度について	6. 特になし
3. 設計、施工方法について	7. その他（ ）
4. 部品、部材について	()

4) 上の設問3)で、もっとも取得したいものを1つ選んで○をつけてください。

5) 研修のために全部でどのくらい時間をかけてもよいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 月に2～3日程度 | 4. 半年に1日程度 |
| 2. 月に1日程度 | 5. 年に1日程度 |
| 3. 2～3カ月に1日程度 | 6. その他() |

問10 公的機関、行政等へのご要望がありますか。特に希望する事項を1つ選んで○をつけてください。また、その他何かございましたら、ご自由にお書きください。

1. 役所・病院等各種の機関からの住宅改善希望者の紹介制度を充実してほしい
2. 住宅改善の助成制度や福祉機器のレンタル等、様々な支援制度を充実してほしい
3. 必要に応じて医療・福祉・福祉機器等の各専門職種を紹介してほしい
4. 住宅改造に関する勉強会、研修を充実してほしい
5. 関係する行政の窓口を一本化してほしい
6. その他()
7. 特になし()

問11 高齢者や障害者などを配慮した住宅改造の相談、設計、および施工を行う場合、特に心がけている点、あるいはこれまでの経験でのご感想、問題点などありましたらご自由にお書きください。

問12 あなたの職種および現在あなたが所属している組織等についておうかがいします。それぞれあてはまるものに○をつけ、()内には必要事項をお書きください。

所属事業所の規模： ご自身も含めた所員の総数()人
 ご自身の業務内容： 1. 木工事 2. 建具工事 3. 内装工事 4. タイル工事 5. 塗装工事
 6. 電気工事 7. 水道工事 8. 設備工事 9. ガス工事 10. その他()
 ご自身の保有資格： 1. 木造建築士 2. 一級建築士 3. 二級建築士 4. その他()
 性別： 1. 男性 2. 女性
 年齢： () 歳
 実務経験： () 年

長い間ご協力ありがとうございました。

謝辞

本論文は多くの方々の励ましとお力添えがあり、完成したものです。ここに記して心から感謝する次第です。まず執筆のきっかけを作っていた東京大学の高橋鷹志教授には、卒業後も仕事などを通じて色々ご指導いただくと共に、論文としてあるべき方向性について貴重なご助言をいただきました。また、老人総合研究所の林玉子氏には、日頃の共同研究の中で、ご教示いただいているだけでなく、研究のまとめの時期においても、暖かい励ましと全体の方向を見通すアドバイスをいただきました。

東京大学の安岡教授、長澤助教授、松村助教授、岸田助教授には論文の審査を通じて、多様な側面から貴重かつ有効なご指摘をいただきました。

老人総合研究所の溝端光雄氏、徳田哲男氏、狩野徹氏、前川佳史氏、諸氏には日常的に、様々な面でご教示、ご協力いただいているほか、数々の励ましとアドバイスをいただきました。

三重大学の中祐一郎教授、横浜国立大学の小滝一正教授、大原一興助教授、建築研究所の佐藤克志研究員、アルス設計工房の安倍博雄氏、元老人総合研究所非常勤研究員の堀端克久氏には、日頃の共同研究を通じて、たくさんのご教示をいただきました。

東京理科大学の沖塩莊一郎教授、塚田幹夫氏、仲隆介氏には、在学中、その後の研究生活の端緒となる数多くのご教示をいただき、また卒業後も様々な機会を通じて温かい励ましをいただきました。

横浜国立大学の国広英樹、福永大介、安田孝臣、岡林慶子、諸氏には、調査及び作業に協同していただきました。

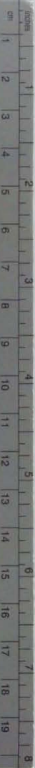
また、調査にご協力いただいた、高齢者およびその家族の方々、江戸川区役所をはじめ全国の役所あるいは高齢者関連の施設などの職員の皆様、建築士や施工業者の皆様にも、心より感謝致します。

さらに、私事ながら、そもそもの研究生活のきっかけを与えてくれた亡き祖母と、日頃の研究生活を全面的に支援してくれた家族にも感謝の意を表する次第です。

論文等発表リスト

- 1) 論文 単名: 高齢社会における住まいに関する研究—コーポラティブ住宅棟生でのアンケート調査を通じて—
- 2) 論文 単名: 高齢社会における住まいに関する研究—コーポラティブ住宅における高齢者居住—
- 3) 研究報告 林 玉子他と連名: 高齢者が在宅生活を続けるための住生活サポートシステムに関する研究—住宅改善に関わるハード・ソフト面について その1—
住宅総合研究財団研究年報NO. 20. PP. 229~240. 1993.
- 4) 研究報告 林 玉子他と連名: 高齢者が在宅生活を続けるための住生活サポートシステムに関する研究—住宅改善に関わるハード・ソフト面について その2—
住宅総合研究財団研究年報NO. 22. 1995 (予定)
- 5) 林 玉子他と連名: 高齢者の社会参加活動と自立推進方策に関する研究調査研究報告書—小規模居住の現状と課題—, pp179~244. 1991. 3
- 6) 研究報告書 林 玉子他と連名: 住宅改善におけるケース・マネージメント。
長寿科学総合研究平成4年度研究報告, pp. 25~pp. 29. 1993. 3
- 7) 学術講演 沖塩 莊一郎他と連名: 高齢社会における住まいに関する研究—コーポラティブ住宅棟生でのアンケート調査を通じて—
- 8) 学術講演 大原 一興他と連名: 都営住宅の立て替えに関わる高齢居住者の生活に関する考察。
日本建築学会学術講演梗概集, pp. 47~48. 1988. 10
- 9) 学術講演 大原 一興他と連名: 高齢社会の住まいに関する研究—コーポラティブ住宅における高齢者居住—。
日本建築学会学術講演梗概集, pp. 293~294. 1989. 10
- 10) 学術講演 川崎 直広他と連名: 高齢者向けサービス付き住宅の研究—葛飾区におけるシルバークーハウジング—応募者調査を通じて—。
日本建築学会大会学術講演梗概集, pp83~84. 1990. 10
- 11) 学術講演 林 玉子他と連名: 高齢者の心身機能の低下に伴う物的対応に関する研究 (その1) —リハビリ病棟退院患者に見る住宅改善の状況と非改造の理由—。
日本建築学会大会学術講演梗概集, PP. 319~320. 1991. 9
- 12) 学術講演 林 玉子他と連名: 高齢者の心身機能の低下に伴う物的対応に関する研究 (その2) —改造プロセスに関するケース・スタディー—。
日本建築学会大会学術講演梗概集, PP. 81~82. 1992. 8
- 13) 学術講演 林 玉子他と連名: 高齢者の心身機能の低下に伴う物的対応に関する研究 (その3) —改善内容と経費の関わり—。
日本建築学会大会学術講演梗概集, PP. 83~84. 1992. 8
- 14) 学術講演 林 玉子他と連名: 江戸川区住宅改善助成制度の利用実態と効果 (その1) —住宅改善に至るプロセス, 経年変化の実態と課題—。
日本建築学会大会学術講演集, PP. 341~342. 1993. 9
- 15) 学術講演 林 玉子他と連名: 江戸川区住宅改善助成制度の利用実態と効果 (その2) —住宅改善の効果—。
日本建築学会大会学術講演集, PP. 343~344. 1993. 9





Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

